

令和5年度

(自)令和5年4月1日～(至)令和6年3月31日

社会福祉法人 高瀬会 事業報告書

法人事業の概要報告	・・・	1頁
社会福祉事業		
介護老人福祉施設 特別養護老人ホーム 古座川園	・・・	4頁
軽費老人ホーム ケアハウス 湯ごりの郷	・・・	8頁
介護老人保健施設 老人保健施設 あじさい苑	・・・	10頁
通所リハビリテーション	・・・	13頁
在宅複合型施設 グリーンヴィレッジ古座川		
短期入所施設 グリーンヴィレッジ古座川	・・・	15頁
高瀬会訪問介護ステーション	・・・	18頁
高瀬会地域密着型デイサービスセンター	・・・	20頁
グループホーム もみの樹	・・・	22頁
高瀬会地域密着型バーデンライフ・ケアセンター 湯ごりの郷		
グループホーム 湯ごりの郷	・・・	24頁
小規模多機能ハウス 湯ごりの郷	・・・	26頁
ふれあいサロン ゆかし庵	・・・	28頁
高瀬会第2訪問介護ステーション	・・・	31頁
古座川町高齢者生活福祉センター ささゆり	・・・	33頁
公益事業		
南紀ケアプランセンター	・・・	35頁
南紀ケアプランセンター那智勝浦	・・・	38頁
南紀ケアプランセンター串本	・・・	40頁
高瀬会訪問看護ステーション	・・・	43頁
配食サービスセンター	・・・	45頁
湯ごりの郷配食サービス	・・・	46頁
たかせ会記念診療所	・・・	47頁
人材育成事業	・・・	48頁

法人事業の概要報告

長引く世界情勢の緊迫を背景に物価高騰が進む中、日本経済全体ではコロナ禍の収束や株価上昇など一部に明るい兆しがみられたものの、当法人におきましては介護職員の確保等の難しい事業運営が続きました。

こうした状況の中、令和5年度も法人理念「高齢者の尊厳を支えるケアの確立」にもとづき、県や町をはじめとする関係機関と連携のうえ事業運営を継続し、地域の社会福祉法人としての役割を担うため、安定した介護サービスはもとより、より質の高いサービスの提供に向けて役職員一同取り組んでまいりました。

令和6年度は介護報酬の改定が実施されることにより、更なるご利用者様へのサービスの質の向上や、職員の待遇改善に努めてまいります。

1. 法人の組織強化

法人組織のガバナンス強化をはかるため、公益性・非営利性を担保しつつ、適宜な職員の異動配置を実施し、事業の発展性・継続性を考慮した体制づくりを進めるとともに、委託会計事務所による月次巡回監査指導を実施し、適正な財務運営に努めました。

2. 感染症対策の強化

新型コロナウイルス感染症に対応すべく「感染症対策委員会」において、情報の共有をはかるとともに、対応を協議し、職員の感染症に対する意識を更に高めました。

また、ご利用者様ご家族様には大変ご迷惑をお掛けいたしました。ガラス越し面会やWeb面会などの措置による徹底した感染防止対策を実施し、対策の強化に努めました。

また、感染症発生時には、関係機関との緊密な連携や、職員の適切な配置・運用等により、感染拡大防止と、迅速な鎮静化をはかりました。

3. 防災対策の強化

火災・地震・台風などの様々な災害発生から、ご利用者様の安全確保をはかるため、「非常災害計画」にもとづき避難訓練を実施いたしました。

また、非常階段・スロープなどの点検修理を行い、災害時の避難経路確保を進めるとともに、非常用備蓄品の整備など、対策の強化に努めました。

4. 社会福祉法人としての地域貢献

社会福祉法人の責務である地域交流などの公益的な取り組みについては、古座川町役場主催の「クリーンキャンペーン古座川の大そうじ」や「古座川の秋まつり」に参加行うとともに、法人による利用者負担軽減の実施や、那智勝浦町社会福祉協議会との連携により、中学生を対象とした福祉体験学習や福祉健康祭りへのご利用者様の作品展示などを行いました。

5. 人材確保と定着

人材確保をはかるため、ハローワーク・和歌山県就職情報サイト・田辺市社会福祉協議会紀南福祉人材バンクなどへの求人登録を積極的かつ継続的に行うとともに、UIわかやま就職ガイド・熊野地方企業紹介冊子・中高校生向け企業紹介冊子などにも募集広告を掲載いたしました。また、近隣の高等学校を訪問しての新卒者に対する求人活動や、高校生向け企業ガイダンス、福祉・介護・保育のしごとフェアに参加するなど、人材確保に対して精力的に取り組みました。

6. 人材育成

介護職員に必要な倫理性、知識・能力・技術などの専門性や、組織人としての心得を身につけるため、各種施設内外研修に参加いたしました。その主なものは次のとおりです。

- ・介護福祉士養成実習施設 実習指導者研修会（3名：4回）和歌山市
- ・ケアマネジメント勉強会（2名：4回）串本町
- ・危機管理看護マネジメント研修（1名：1回）那智勝浦町

「介護福祉士国家資格」を3名が受験し、2名が合格いたしました。

また、インターネットを活用したオンライン研修会については、「認知症介護基礎研修」6名・「介護施設における安全対策担当者養成研修」7名・「人権擁護推進員研修」3名、などに参加をしております。

外国人技能実習生6名については、日本語の学習や介護知識・技術の習得に法人全体でサポートを行った成果もあり、日本語能力検定（N3）には3名中1名が、（N2）には3名中1名が合格しました。

今後も引き続き、技能・知識の向上にむけて、積極的な指導を行ってまいります。

内部の事業所内研修では、感染症対策に関する研修や、高齢者虐待に関する研修、リスクマネジメント研修の他、事業所それぞれの課題となっている事案や人権に対する研修などを実施しました。

7. 介護職員の処遇改善

介護職員処遇改善加算・介護職員等特定処遇改善加算ならびに介護職員等ベースアップ等支援加算を活用し、介護職員をはじめ、他の職員を含めた更なる処遇改善に努めました。また、介護職員処遇改善支援補助金の交付にともない、令和6年3月には処遇改善支援一時金の支給も行いました。

非正規職員から正規職員への登用については、登用試験により1名を登用いたしました。また、職員の健康対策をはかるため、年次健康診断・介護職員の腰痛検査およびストレスチェック診断を実施いたしました。

8. 人権尊重

「和歌山県人権尊重の社会づくり協定」にもとづき、職員の更なる人権意識高揚のため、外部研修への参加や職場内研修などを実施するとともに、人権啓発ポスターの掲示や人権情報誌の回覧を行い、人権についての啓発を行いました。

特別養護老人ホーム 古座川園

1. 運営について

運営理念である「高齢者の尊厳を支えるケアの確立」を念頭に、地域における特別養護老人ホームの役割を担うべく、尊厳の保持し最後まで過ごし慣れた環境で生活できるように支援しました。令和5年6月と8月に新型コロナウイルスの施設内感染による対応、令和6年1月の施設内インフルエンザ対応により入退所を一時中止するなどの影響がありました。年間の延べ利用者数は17,057名で、稼働率は93.46%となり、月間稼働率97%以上を達成できた月は1ヶ月でした。

- ・入院の実績については年間約1.9%であり、前年比0.5%増となり、月ごとの入院者数合計は22名で1ヶ月あたり平均1.8名の方が入院されたこととなります。
- ・ご利用者様の退所、入所にかかる空床については7.7%であり、感染症による入所対応の遅れなどによる影響がありました。
- ・空床でのショートステイをご希望されているご利用者様の受入れについては、実人員5名（延べ487日）の実績であり、1.4%の稼働となっております。
- ・稼働率につきましては、前年比0.88%増で、今年度も感染症の対応が稼働率に影響する結果となり、また、入所希望者のうち、要介護度4または5の認定者数が徐々に少なくなっている傾向があり、入所者の確保が課題となっております。

2. 環境・施設設備・備品の整備

今年度も車椅子、介護用ベッドなど経年劣化による故障のある福祉用具について修理または入れ替えを行い、ご利用者様が清潔に気持ちよく又安全に使用できるように対処しました。機能性の高い車椅子を使用することで、ご利用者様が安楽に過ごせるだけでなく、職員の介護負担の軽減にもつながっており、より良い職場環境の構築として今後もさらに対応していく事が望まれます。雨漏れ対策工事やエアコンの入れ替えなどの施設整備も実施しました。施設全般に補修、整備が継続して必要な状況となっており、今後は補修費用の増額が見込まれます。

3. 防災対策

B C P（業務継続計画）計画策定の研修に参加し防災対策についての理解を深めました。また、B C Pについて事業所内で研修を行い、職員全体で周知できるように取り組みました。

4. 自立支援介護への取り組み

ご利用者様が可能なかぎりご自分でできることが維持できるよう、機能訓練指導員を中心に、ご利用者様個々の状態について計画を作成し機能訓練を実施しました。生活動作を中心にリハビリを行い、トイレでの排泄が維持できるように支援しました。水分摂取量では、ご利用者様の一人ひとりの状態を検討し、必要な水分量を設定し、無理なく摂取できるように支援しました。

歩行のアドバイスや移乗動作の確認、身体機能の評価を行うことで、自身の有する能力を最大限に活用できるよう支援しました。

5. 看取り介護（ターミナルケア）

今年度は古座川園で10件の看取り介護を実施し、退所者の66.6%の方について施設での看取りを行いました。感染症対策の中で、ご家族へのご本人の状態の説明や状態の理解について面会などが十分できない事での難しさがありました。

6. 自分らしい生き方への支援・認知症ケアの実践

ご家族や地域の方々との交流が限られる中で、季節の良い時にドライブをするなど数少ない機会ではありますが実施しました。ご家族様からもご利用者様との面会、交流を希望される要望がありましたが、窓越しでの面会、WEBでの面会として対応させていただきました。事業所内で認知症の研修を実施し、認知症ケアへの理解を深めるよう努めました。

7. 身体拘束廃止への取り組み

「身体的拘束適正化委員会」を設置し、毎月身体拘束に該当する事例がないか話し合いを行いました。虐待や身体拘束について職員研修を年間2回行い、虐待の起こり得る状況、身体拘束による弊害について理解を深めました。身体拘束に該当するケースはありませんでした。

8. リスクマネジメント

リスクマネジメント委員を中心に、ヒヤリ・ハット報告および事故報告の内容について分析・検討を重ね、事故の再発防止や未然防止に取り組みました。事業所内研修において、リスクマネジメントの理解を深める研修会を実施し、事業所内の課題について考える機会を持ちました。骨折などの重大事故はありませんでした。

9. 人材育成・研修会等への参加

近畿老人福祉施設研究大会に参加し、職員が古座川園での認知症に対する取り組みを紹介、発表しました。発表を行うことで、日頃の自分たちのケアを見つめ直す機会となり、今後のさらなる取り組みの意欲につながっています。

10. 日常生活支援

(1) 食事については管理栄養士を中心とした栄養マネジメント計画書を作成し、ご利用者様の状態に応じた食事形態に柔軟に対応しました。また高カロリー補助食品などを積極的に使用し、ご利用者様の状態維持が図れるよう支援しました。

(2) 入浴については、ご利用者様も楽しみにされているひと時であり、気持ちよく入浴していただけるよう、また安全に入浴できる状況を検討しながら実施しました。

ご利用者様の状態像に応じて一般浴の浴槽の改修が必要となっております。

(3) 排泄については、日中は可能な限りトイレでの排泄ができるよう支援を行いました。ご利用者様の状態に合わせた適切な排泄支援について検討を行いました。

11. 感染症への対応・褥瘡発生の予防

感染症対策として、窓越し面会の実施、職員の健康状態の管理、検温の実施、手洗い、消毒の徹底、などの対応を継続して行いました。令和5年6月には施設内で14名のご利用者様の新型コロナウイルス感染症が確認され、感染症対策を実施、同じく8月には15名の感染が確認され対応いたしました。令和6年1月にはインフルエンザの感染があり15名のご利用者様の罹患が確認されました。褥瘡対策については、看護職員を中心として、褥瘡発生予防対策に努め、また栄養面からもアプローチを行い改善に向けた取り組みを継続しました。

12. 入所検討委員会の運用

入所検討委員会の実施について、感染症対策もあり、会議がなかなか開けない状況ありましたが、入所指針に則り、公正な入所判断を行うよう心掛けて実施・運用を行いました。

特別養護老人ホーム古座川園 令和5年度 利用者実績

(1) 市町村別入所者数 (令和6年3月31日現在)

	古座川町	串本町	那智勝浦町	太地町	新宮市	他府県	合計	R4年度	R3年度
男性	5	4	1	0	0	0	10	9	10
女性	16	15	4	1	0	0	36	37	38
合計	21	19	5	1	0	0	46	46	48
待機者数	15	16	4	1	0	1	37		

(2) 年齢別入所者数 (令和6年3月31日現在)

	69歳以下	70～79歳	80～89歳	90～99歳	100歳以上	合計	最高齢	R4年度	R3年度
男性	0	2	3	5	0	10	96	95	99
女性	0	4	10	19	3	36	102	101	100
合計	0	6	13	24	3	46	平均86.3	平均88.4	平均89.1

(3) 介護度別入所者数（令和6年3月31日現在）

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計	平均	R4年度	R3年度
男性	0	1	3	5	1	10	3.6	3.3	3.4
女性	0	0	9	12	15	36	4.1	4.0	4.1
合計	0	1	12	17	16	46	4.0	3.9	3.9

(4) 入退所実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	R4年度	R3年度
入所	3	1	1	1	0	1	1	2	0	0	1	4	15	20	14
退所	1	1	1	1	3	0	0	1	3	2	1	1	15	22	15

	退所者数	平均年齢	介護度	平均在籍年数	
退所者の平均在籍年数	R5年度	15	92.6	3.9	2.4
	R4年度	22	90.8	4.1	3.8
	R3年度	15	89.4	4.4	2.3

(5) 月別延べ入所者数実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	R4年度	R3年度
入所	1356	1472	1431	1452	1413	1342	1399	1411	1418	1341	1193	1342	16,570	16,573	16,893
短期入所	11	0	0	0	2	55	77	51	59	85	87	60	487	278	197
合計	1367	1472	1431	1452	1415	1397	1476	1462	1477	1426	1280	1402	17,057	16,851	17,090
1日平均	45.2	47.4	47.7	46.8	45.6	46.5	47.6	48.7	47.6	46.0	44.1	45.2	46.6	46.2	46.8
稼働率	91.1	94.9	95.4	93.6	91.2	93.1	95.2	97.4	95.2	92	88.2	90.4	93.21%		

(6) 身体拘束ゼロへの取り組み実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
総時間数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(7) ターミナルケア取り組み実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	退所者割合
利用者数	0	0	0	1	3	0	0	0	2	2	1	1	10	66.6%

(8) リスクマネジメント報告件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	R4年度	R3年度
ヒヤリハット	45	62	30	20	75	35	44	63	127	89	50	74	714	245	271
事故報告	3	2	2	1	9	4	2	3	3	4	1	3	37	25	60
苦情受付	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

軽費老人ホーム ケアハウス 湯ごりの郷

1. 運営方針について

ご利用者様一人ひとりの想いや心身の状況に合わせて、ご利用者様自身が持つ能力を活かし、役割や生きがいを見つけながら、個別性を尊重した暮らしを実現できるように支援しました。

2. ユニットにおける個別ケアの取り組み

ユニットケアを推進し、ご利用者様の希望や心身の状況に柔軟に対応できるように努めてまいりました。その中から、「その人らしい生活」が実現できるように、個別ケアに取り組みました。また、ご利用者様、ご家族様の希望がありましたら医療機関と連携をとりながら、看取りの対応も行いました。

3. 安定的な収入源の確保

ご利用者様の健康を維持できるよう、医療機関と連携を取りながら健康管理に努め、できるだけ入院、退去が無いようにしました。また、空床ベッドの有効利用を促進し、ショートステイの受け入れを行いました。

4. 非常災害および緊急時の対応と事故防止、感染症対策

非常災害時には、迅速・適切に対応できる緊急連絡体制を整備し、避難訓練等を通じて、対応について検討を重ねました。また、各委員会を中心に、ヒヤリハット報告や事故報告書等の検討を行い、事故の再発予防や、感染症のまん延を防止できる取り組みを行い、安全な生活が送れるように取り組みました。

5. 虐待防止、身体的拘束の廃止と尊厳の保持

ご利用者様の尊厳を守るため、虐待、身体拘束などの行動を制限する行為は、行っておりません。また、虐待防止委員会、身体的拘束適正化委員会を中心に、ご利用者様やご家族様への対応や言動を振り返る機会をもち、「不適切なケア」についても検討を重ねて、早期改善ができるように努めました。

6. 苦情要望への対応

面会が制限された中ではありますが、日頃のご利用者様の生活の様子を、お便りや電話で報告し、ご利用者様やご家族様から意見や要望を聴かせていただきました。また、苦情要望が発生した場合は、速やかな対応に心がけ、いつでも心地よくサービスを受けることができるようにしました。

7. 地域の一員としての生活支援

新型コロナウイルスの影響により、行事などが自粛となり外出支援は困難な状況になりましたが、施設の中で、感染予防をしながら行事などを実施しました。運営推進会議では評価、要望、助言をいただき、事業運営に活かしてまいりました。

8. 人材の育成、確保

職員同士でコミュニケーションを深め、協力し合うことができる関係性を構築できるように努めました。事業所内では研修を計画的に開催し、知識を深め、専門性を向上させることを目指しました。

軽費老人ホーム ケアハウス「湯ごりの郷」令和5年度利用者実績

(1) 市町村別構成(令和6年3月31日現在)

	那智勝浦町	太地町	新宮市	串本町	古座川町	その他	合計
男性	8	1	0	0	0	0	9
女性	15	2	0	0	0	0	17
合計	23	3	0	0	0	0	26

(2) 年齢別構成(令和6年3月31日現在)

	69歳以下	70～79歳	80～89歳	90～99歳	100歳以上	合計
男性	1	0	2	5	1	9
女性	0	1	5	10	1	17
合計	1	1	7	15	2	26

(3) 介護度別構成(令和6年3月31日現在)

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
男性	1	1	4	3	0	9
女性	4	6	1	5	1	17
合計	5	7	5	8	1	26

(4) 月別入所者数

種別/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	R5年度合計
延利用者数	783	824	806	823	845	830	868	821	838	791	751	783	9,763
稼働率%	90.0%	91.7%	92.6%	91.5%	94.0%	95.4%	96.6%	94.4%	93.2%	88.0%	92.5%	87.1%	92.25%
一日当たり平均	26.1	26.6	26.9	26.5	27.3	27.7	28.0	27.4	27.0	25.5	26.8	25.3	26.75
短期利用	16	15	15	4	16	23	16	11	4	6	9	7	142
入居者数	0	1	1	1	1	1	0	0	0	1	1	2	9
退去者数	1	1	0	1	1	0	0	0	0	3	3	0	10

(5) リスクマネジメント事故報告件数

種別/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	R5年度合計
事故報告	2	2	1	6	9	1	2	6	4	2	2	1	38

(6) 入所待機者数(令和6年3月31日現在)

	那智勝浦町	太地町	新宮市	串本町	古座川町	合計
男性	11	2	1	0	2	16
女性	11	10	2	0	2	25
合計	22	12	3	0	4	41

老人保健施設 あじさい苑

(施 設)

1. 運営方針について

法人理念「高齢者の尊厳を支えるケアの確立」を念頭に、尊厳の保持と自立支援を目的とし、生活機能向上をめざしたりハビリテーションによる在宅復帰および在宅療養支援、看取りケア、認知症ケアなど、地域の実情に応じたニーズへの対応に努めました。年間延べ利用者数は 27,186 名(対前年比 102.9%)、1 日平均利用者数は 74.3 名、稼働率 92.9%ですが、在宅復帰支援により介護報酬基本型算定を達成しています。また、11 月に和歌山県長寿社会課より運営指導を受けた結果、指摘事項はなく、適切な運営ができているという高い評価を得ることができました。

2. リハビリテーションによる在宅復帰支援

生活機能の維持向上を目指す効果的なりハビリテーションを実施し、日常生活動作や精神機能の向上をはかることで在宅復帰支援に取り組みました。また、普段から在宅生活への移行をめざした外泊や外出の支援に努めることで自宅生活再開への自信回復に努めました。年間延べリハビリ実施者数 6,629 名(対前年比 95.2%)内、短期集中加算リハビリ実施者 608 名(同 73.4%)、短期入所個別リハビリ加算実施者 286 名(同 179.8%)とリハビリ強化に努めました。そして、在宅復帰者数は、年間延べ 21 名(同 131%)の自宅生活再開を支援しました。

3. 認知症の人の生活支援

認知症の人の人格を尊重した専門性ある支援を行うことで、症状の緩和に努めました。また、ご利用者様への倫理的配慮、価値観を尊重することの認識を高め、身体拘束等の行動制限行為や不適切なケアをチームで検証しました。

4. ターミナルケアによる看取り介護支援

医師の終末期診断をもとに、ご利用者様またはご家族様の意向を確認し、同意を得たうえで、看取り(終末期)介護を実施しました。ご家族様との最期の時間を有意義に過ごせることができるよう、また、死後のご家族様の悲しみや混乱が少しでも軽減できますようグリーフケアにも努めました。年間 54 名の退所者の内、施設での看取り介護実施者数は 14 名になっております。

5. 医療の提供

日常の健康や病状管理から、異常の早期発見や対応を行うことで、重症化の防止をはかるとともに、所定疾患(肺炎・尿路感染症など)における治療や緊急時の医療

処置など、施設で可能な医療を提供しました。所定疾患療養に係る治療については、年間延べ52名(治療日数227日加算算定)を行いました。医療ニーズに対応するためにも、医療スタッフの確保が喫緊の課題です。

6. 感染症、褥瘡発生予防対策の取り組み

感染症または食中毒の予防およびまん延防止対策のため、衛生管理推進員や感染症対策委員会の指示のもと、感染予防対策を実施しました。しかし、あじさい苑は、7、8、10月の3回新型コロナウイルス感染症によるクラスターが発生しました。ご家族様、県に報告、政府等の情報から、職員の感染対策意識を高めるとともに、「感染しない」「施設に持ち込まない」「広げない」「最小限に食い止める」の共通認識のもと全力で取り組みました。褥瘡発生予防対策委員会では、予防的対応から発生後を早期に対応することで重篤化を防ぎました。

7. 短期的な利用における在宅療養支援

必要に応じた個別リハビリテーションや介護者のレスパイトなどを目的とした短期入所療養介護サービスを提供することで、在宅生活の継続を支援しました。空床利用も含め、年間1,040日の短期入所療養サービスを提供しました。

8. 介護ロボットにおける快適な環境づくり

ロボット技術を活かした見守り支援機器の導入、整備に努めました。(眠りスキャン43/80台、眠りスキャンアイ20/80台)行き届いた見守りを実現することで、転倒・転落等事故予防、適切な居室訪問により、ご利用者様の安心、安全の確保を行いました。また、介護ロボット整備事業の目的にある職員の労務環境の改善を行い、法人理念にあるサービスの質の向上につながる効果が得られました。

9. 安定したご利用者様の確保

在宅復帰支援により、目標は達成しております。来年度は、地域貢献活動の実施により、基本加算型達成を目標に取り組みます。在宅復帰支援の地域理解を深め、よりスムーズな入退所を行います。

(在宅復帰・在宅療養支援等目標)

	目標値	5年度年間平均値
在宅復帰率(前6か月)	30%以上	45%
ベッド回転率(前3か月)	5%以上	7.2%
入所前後訪問指導割合(前3か月)	30%以上	31%
退所前後訪問指導割合(前3か月)	30%以上	0%
在宅復帰支援等指標(基本型)	20以上	31

老人保健施設あじさい苑 令和5年度利用実績

(1) 市町村別入所者数(単位:人) 令和6年3月31日現在

	古座川町	串本町	那智勝浦町	太地町	新宮市	その他	5年度合計	4年度合計
男性	3	4	1	0	0	0	8	12
女性	25	35	8	0	0	2	70	65
合計	28	39	9	0	0	2	78	77
比率	35.9%	50.0%	11.5%	0.0%	0%	3%	100.0%	100.0%

(2) 年齢別構成(単位:人) 令和6年3月31日現在

	69歳以下	70~79歳	80~89歳	90~99歳	100歳以上	5年度合計	最高齢	5年度比率	4年度比率
男性	0	1	2	5	1	9	101	11.5%	15.6%
女性	1	0	18	48	2	69	102	88.5%	84.4%
合計	1	1	20	53	3	78	-	100%	100%

(3) 介護度別構成(単位:人) 令和6年3月31日現在

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	5年度合計	5年度平均介護度	4年度平均介護度
男性	2	3	3	0	1	9	2.44	2.83
女性	10	16	16	17	10	69	3.01	3.06
合計	12	19	19	17	11	78	2.73	2.95

(4) 月別入所者実績(短期利用含む)・・定員80名

種別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	5年度合計	4年度合計
月別延人員	2,294	2,360	2,250	2,309	2,256	2,169	2,310	2,228	2,270	2,209	2,177	2,354	27,186	26,430
月平均(人)	76.5	76.1	75.0	74.5	72.8	72.3	74.5	74.3	73.2	71.3	75.1	75.9	74.3	72.2
稼働率(%)	95.6%	95.2%	93.8%	93.1%	91.0%	90.4%	93.1%	92.8%	91.5%	89.1%	93.8%	94.9%	92.9%	90.3%
在宅復帰者数	1	0	2	0	0	1	2	1	1	2	3	3	16	16

(5) 年間ヒヤリハット・事故報告件数

種別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	5年度合計	4年度合計
ヒヤリハット報告	61	92	54	70	58	59	29	70	56	45	63	40	697	1,499
事故報告	5	2	6	1	1	2	5	5	7	3	1	0	38	43
苦情要望	2	0	0	1	1	0	2	0	1	0	0	0	7	5

(6) 入所待機者数(令和6年3月31日現在)

	古座川町	串本町	那智勝浦町	太地町	新宮市	その他	5年度合計	4年度合計
男性	5	7	0	0	0	0	12	18
女性	8	18	2	0	0	0	28	38
合計	13	25	2	0	0	0	40	56

老人保健施設 あじさい苑

(通所リハビリテーション)

1. 運営方針について

法人理念「高齢者の尊厳を支えるケアの確立」を念頭に、ご利用者様ができるだけ、居宅において自立生活を継続できるよう生活機能向上を目指したリハビリテーションおよび生活介護支援を提供しました。今年度は、必要に応じた短時間サービス提供にも取り組みました。ご利用者様は古座川町、串本町の2市町村から、年間延べ利用者数4,546名。1日の平均利用者数は15名と昨年度より1日1.4名減となりました。今後は、古座川町、串本町を中心にご利用者様を積極的に受け入れ、在宅支援として必要なリハビリを提供し、地域ニーズに応えられるよう努めてまいります。

2. 意志や人格を尊重した生活支援

ご利用者様およびご家族様の意向や希望を尊重し、生活機能の向上をめざした支援を計画的に実施しました。また、ご利用者様一人ひとりの倫理的配慮、価値観を尊重することの認識を深め、職員の言葉使いや態度など、基本的な姿勢をはじめ、不適切な行為の検証を実施しました。

3. リハビリテーションによる在宅生活の継続支援

ご利用者様の在宅生活が長く継続できるよう、一人ひとりに目標を設定し、その目標に沿ったリハビリテーションを実施することで生活機能の維持向上をはかり、自律した社会生活が送れるよう支援しました。また、質の高いリハビリテーションにより、要介護状態から要支援状態に改善される方もおられ、生活機能向上を実現しております。

4. リスクマネジメントおよび苦情に対する取り組み

ヒヤリ・ハットや事故報告等をもとに、介護事故の未然防止や重大事故防止に取り組まれました。また、日頃からご利用者様やご家族様からの意見や要望を聴く体制を整え、苦情の速やかな対応を行いました。

5. 安定したご利用者様の確保

古座川町、串本町のご利用者様を中心に新規、利用日の追加を行いました。平均利用者数は1日15名と、目標の1日25名には大幅に届きませんでした。今後は積極的にご利用者様を増やし、安定した事業運営をはかります。

老人保健施設あじさい苑デイケア 令和5年度利用実績

(1) 要介護別年間延利用者数 (単位:人)

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計	稼働率(%)
4年度	118	305	1,517	1,010	1,360	436	352	5,098	47.0%
5年度	139	297	1,159	1,139	1,130	396	286	4,546	43.0%

(2) 実人員・延べ人員 (単位:人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年比(%)
実人員	R4年度	64	58	59	56	58	56	55	53	52	54	53	53	671	85.6%
	R5年度	57	52	50	51	50	51	50	51	46	49	47	47	601	89.5%
延べ人員	R4年度	489	443	448	435	432	413	438	408	385	376	398	433	5,098	82.4%
	R5年度	411	398	375	388	384	409	404	391	334	297	370	385	4,546	89.1%

(3) 利用者平均介護度

平均	R4年度	2.25
介護度	R5年度	2.39

(4) 年間営業日数

年間	R4年度	310
営業日数	R5年度	305

※要支援1は0.5換算

(5) 地域別登録利用者数 (単位:人)

令和6年3月31日現在

	古座川町	串本町	那智勝浦町	太地町	その他	R5年度合計	R4年度
男性	4	11	0	0	0	15	19
女性	14	18	0	0	0	32	34
合計	18	29	0	0	0	47	53

(6) 年齢別登録利用者数 (単位:人)

令和6年3月31日現在

65歳まで	65~69歳	70~74歳	75~79歳	80~84歳	85~89歳	90~94歳	95歳以上	合計
0	0	1	4	6	12	12	12	47

(7) 年間ヒヤリハット・事故報告件数

種別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	5年度合計	4年度合計
ヒヤリハット報告	2	1	0	0	1	0	2	1	0	0	1	0	8	16
事故報告	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	1
合計	3	1	0	0	1	0	2	1	0	0	1	1	10	17

短期入所施設 グリーンヴィレッジ古座川

1. 運営について

運営理念である「高齢者の尊厳を支えるケアの確立」を念頭に、要介護・要支援状態と認定されたご利用者様に対し、その有する能力に応じ、できるだけ自立した日常生活を営むことができるよう、ご利用者様の心身機能の維持ならびにご家族様の身体的および精神的負担の軽減につながるよう支援いたしました。

また、心の通い合う明るい施設として地域社会の要請に応え、安心してご利用いただけるサービスの実現に向けて、職員全員が一丸となって取り組みました。

介護保険制度による利用者は、年間延 7,782 名、加えて古座川町委託による要介護者等短期入所事業を行い、これらの利用者を合計すると、年間延利用者は 7,939 名で、1ヶ月の利用者は 662 名、1日平均 21.8 名のご利用がありました。

市町村別の実績では、古座川町 56.3%、串本町 30.1%、那智勝浦町 13.2%でした。また介護度別では、要介護 1 が 22.8%、要介護 2 が 27.5%、要介護 3 が 27.9%、要介護 4 が 20.0%、要介護 5 が 0.8%の割合でした。

2. 処遇について

(1) 日常生活

朝の体操をはじめ、ADL ゲームなどへの参加や声かけあるいは誘導などを行い、ご利用者様の心身機能の維持に努めました。また、施設内の清掃・消毒・換気には特に気配りをし、近隣地域におけるコロナウイルスまん延時においても安心して過ごせる環境の提供に努めました。

(2) 健康管理

看護職による健康チェックにより、健康状態の把握と疾病などの早期発見に努めました。また、病状などの変化・要望に対して、ご利用者様および主治医と連携し、ご利用者様が安心かつ快適に過ごすことができるよう取り組みました。

(3) 食生活

ご利用者様のご要望や検食による職員の意見を反映させた献立により、栄養バランスのとれた食事を提供するとともに、ご利用者様の心身の状況や嚥下状態に応じた食事の提供に努めました。

(4) 入浴

週 2 回の定期入浴と週 1 回の随時入浴により、一般浴槽と機械浴槽を使用して、ご利用者様の身体状況にあった入浴を提供しました。

(5) 排せつ

ご利用者様の希望や心身の状態に応じて、トイレあるいはポータブルトイレを使用し、声かけ・誘導などの介助を行いました。またおむつを使用されているご利用者様については、定時交換および随時交換を行いました。

3. 意志や人格を尊重した生活支援

ご利用者様・ご家族様の思いや要望を尊重し、身体・心理、社会的側面から支援の必要性を導き出しながら自立度が向上できるよう、計画的な生活支援を実施しました。退所時には、ご利用者様の生活状況や身体状況について、「生活メモ」によりご家族様に報告し、退所後の自宅生活につながるようサポートを行いました。

4. 研修体制の充実

コロナ感染症予防を重視し全体研修の開催・参加を控えましたが、WEB を利用した外部研修の受講や事業所内での各種研修を従来通り積極的に行い、職員の資質・知識・技術向上に努めました。

5. 身体拘束廃止・高齢者虐待防止

身体拘束禁止規定の遵守に努め、ご利用者様の尊厳を守るために、不要な行動制限をしないよう事業所内研修などで周知徹底をはかりました。

また、委員会活動や研修を通して、身体拘束行為が高齢者虐待につながりやすいことの理解を深め、虐待防止対策についての知識向上に努めました。

6. リスクマネジメントおよび苦情に対する取り組み

「リスクマネジメント委員会」を設置し、「ヒヤリハット報告書」・「事故報告書」をもとに事例検討を行うとともに、ご利用者様の心身の状態や取り巻く環境を十分に把握し、職員間で情報を共有することにより、再発の防止に取り組みました。

また、「苦情申し出窓口」を設置するとともに、苦情受付担当者を配置し、苦情が発生した場合には「苦情解決要綱」にしたがい、積極的かつ速やかに対処し、サービスの向上に努めました。

7. 感染症の発生予防とまん延予防対策

感染症委員会の活動や事業所内研修を通して、感染症発生予防とまん延防止対応を迅速に行いました。また、職員に対し専門職からの指導や研修を通じて感染症に対する知識の習得をはかり、その予防に努めました。

8. 施設の稼働状況について

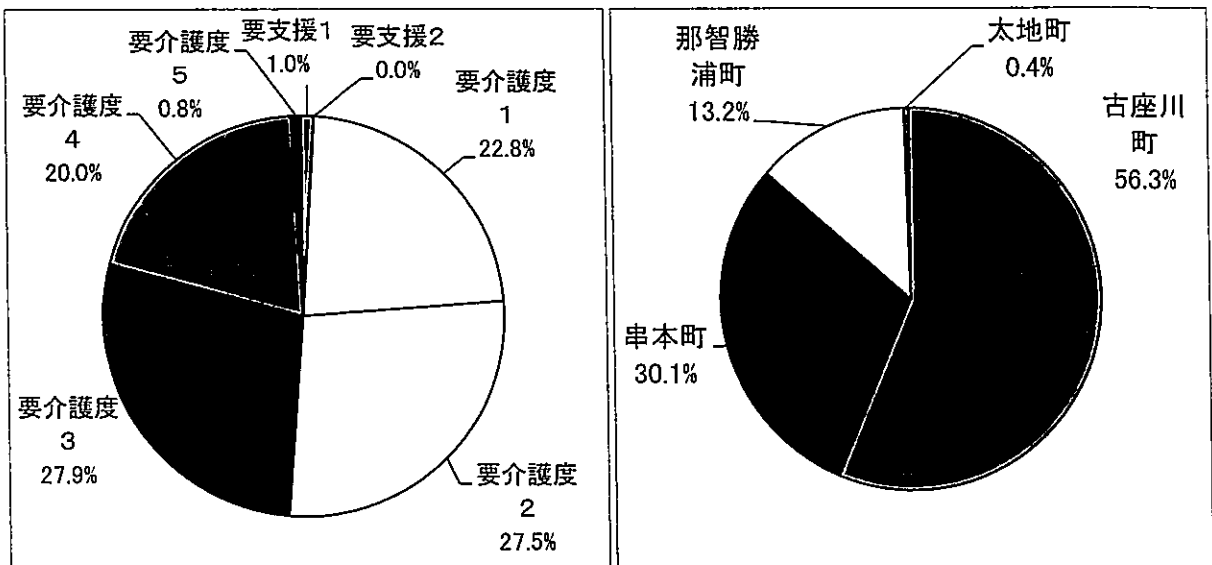
近隣地域における感染症まん延時においても、新規利用受付などを積極的に行い健全な事業所運営に努めました。今期の稼働率は87.0%となり、前年比で1.6%の増加となりましたが、稼働率目標である92%を下回る結果となりました。来期は、今以上に選ばれる施設を目指して、安心してご利用いただけるサービスの質を確保し、地域の皆様の要望に応えられるよう努めます。

短期入所施設 令和5年度 実績

(1) 介護保険サービス

要介護度別	要支援1	要支援2	要介護度1	要介護度2	要介護度3	要介護度4	要介護度5
件数	81	2	1,771	2,139	2,173	1,557	59
						合計	7,782

市町村別	古座川町	串本町	那智勝浦町	その他	太地町	新宮市	合計
件数	4,384	2,343	1,026	0	29	0	7,782



(2) その他

町単事業(古座川町)
157

(3) 令和5年度 実績計

総実績	1日平均	稼働率
7,939	21.8	87.0%

高瀬会訪問介護ステーション

1. 運営について

居宅サービス計画または介護予防サービス支援計画書にもとづき、ご利用者様が可能な限り住み慣れた地域（居宅）において、その有する能力に応じて自立した日常生活を営むことができるよう、身体介護や生活援助を行いました。

事業の実施にあたっては、関係市町村、地域の保険・医療・福祉サービスとの連携をはかり、在宅支援の一員として適切なサービスの提供に努め、地域福祉向上にも貢献しました。

2. サービス実施状況の適正化への取り組み

- (1) ご利用者様へのサービス提供にあたっては、介護支援専門員が作成した居宅サービス計画（ケアプラン）に沿って、生活目標の達成に向けた具体的な個別の援助計画（訪問介護計画書）の作成に努めました。
- (2) 計画に沿って法令など遵守しながら適切なサービスを提供し、ご利用者様・ご家族様に対し随時相談・助言を行い、利用状態とサービス実施状況の把握を行いました。
- (3) ご利用者様を中心としたチームでの支援が行えるよう、ケアマネージャー、関連サービス事業などと連携をはかり、自立支援につながる援助に努めました。

3. 訪問介護員としての専門性の確立

- (1) 個々の提供業務内容の評価・改善について定期的に業務改善会議で検討し、サービスの向上に努めました。
- (2) サービス提供責任者が中心となり、各介護員のサービス技量の平準化をはかり、ご利用者様一人ひとりに個別の対応が行えるよう適宜指導に努めました。
- (3) 定期的に在宅介護に関する事業所内での研修を実施するとともに、自己研鑽に努めました。

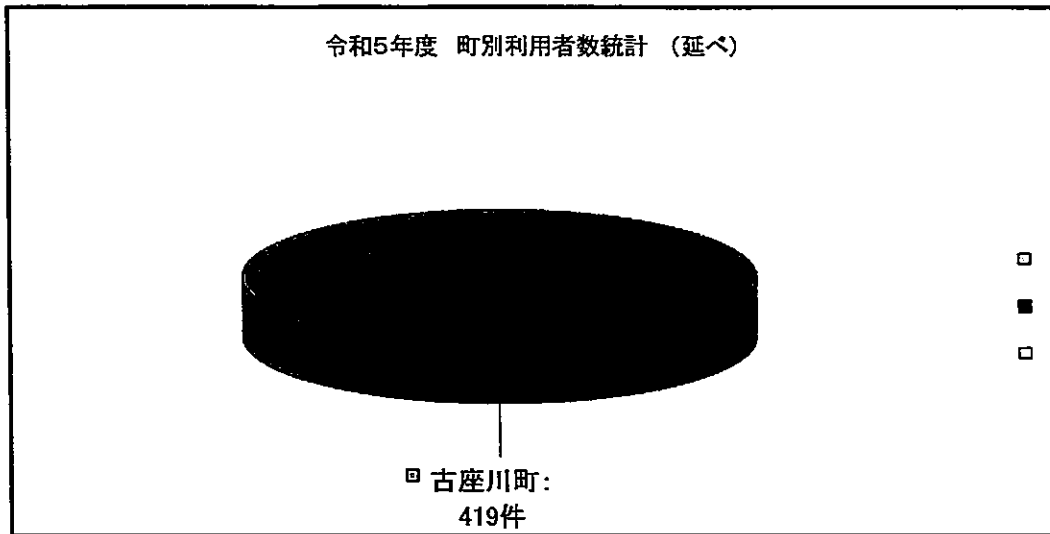
4. 新人ヘルパーの育成

残念ながら令和5年度の新人ヘルパーの入職がなく育成はできませんでした。

5. 苦情に対する取り組み

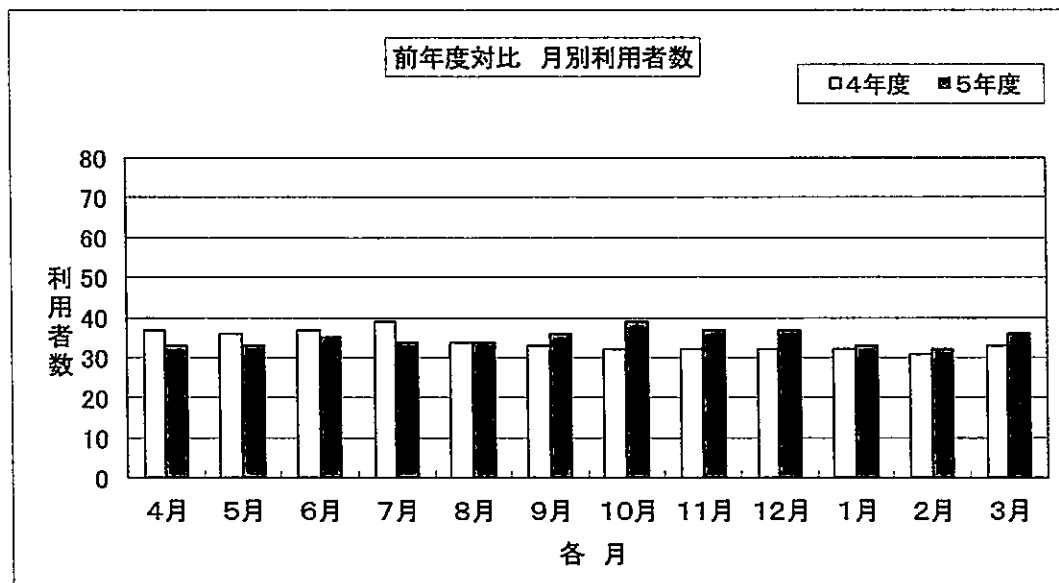
ご利用者様やご家族様からの苦情に対して、「苦情相談窓口」を設置するとともに、苦情受付担当者を配置し、「高瀬会苦情解決要綱」にしたがい、迅速かつ適切に対応しました。

令和5年度 訪問介護ステーション実績(統計)



令和5年度利用者数 統計

	事業対象者	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
4月	0	7	6	13	4	2	1	0	33
5月	0	7	6	13	4	2	1	0	33
6月	0	6	7	12	5	4	1	0	35
7月	0	6	7	12	5	3	1	0	34
8月	0	6	6	13	5	3	1	0	34
9月	0	6	8	13	5	3	1	0	36
10月	0	7	8	14	6	3	1	0	39
11月	0	6	7	14	6	3	1	0	37
12月	0	6	7	13	6	3	1	1	37
1月	0	6	6	12	4	4	1	0	33
2月	0	7	6	11	3	4	1	0	32
3月	0	7	6	14	4	5	0	0	36
合計	0	77	80	154	57	39	11	1	419



高瀬会地域密着型デイサービスセンター

1. 運営について

法人理念である「高齢者の尊厳を支えるケアの確立」のため、介護予防・機能訓練の充実、サービスの質の確保と向上に取り組みました。

令和5年度の稼働率につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、実績41%と前年度の稼働率である50%を下回る結果となりました。

2. 処遇について

(1) 食 事

献立表をもとに、ご利用者様一人ひとりの心身の状況や嗜好を考慮した食事の提供に努めました。

(2) 入 浴

一般浴槽・機械浴槽を使用し、定期的な入浴により、ご利用者様の身体状態に合った入浴を提供しました。

(3) 排せつ

ご利用者様の状態に応じて、排せつ介助(声かけ・誘導・おむつ交換など)を行いました。

(4) アクティビティ

レクリエーションなどにより、生きがいや楽しみを見出すことができるよう、創意工夫いたしました。

(5) 機能訓練

ご利用者様の心身の状況に応じて、日常生活を送るうえで必要な機能の維持・向上に努めました。

(6) 通所介護サービス計画の作成

ご利用者様一人ひとりの状態・希望・環境などを踏まえたうえで、作成された通所介護サービス計画にもとづきサービスを提供しました。

(7) 関係機関との連携

ご利用者様をはじめとして、ケアマネージャーや関係機関との連携をはかり、緊急時の早期対応や心身状況などについての情報交換を行いました。

高瀬会地域密着型デイサービスセンター 令和5年度利用実績

(1) 要介護別年間延利用者数 (単位:人)

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計	稼働率(%)
R4年度	12	97	383	257	40	2	0	791	50.0%
R5年度	0	48	402	166	0	0	0	616	41.0%

(2) 実人員・延べ人員 (単位:人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年比(%)
実人数	R4年度	11	13	14	13	12	11	10	12	13	13	11	11	144	160.0%
	R5年度	11	10	10	10	9	9	9	10	9	10	8	8	113	78.0%
延べ人数	R4年度	73	82	73	58	60	61	57	73	75	61	57	61	791	160.0%
	R5年度	58	63	57	55	44	54	46	54	51	42	43	49	616	77.0%

(3) 利用者平均介護度

平均介護度	R4年度	R5年度
	1.3	1.3

※要支援者も含む

(4) 年間営業日数

年間営業日数	R4年度	R5年度
	105	101

(5) 登録利用者数 (単位:人)

令和6年3月31日現在

	古座川町	串本町	那智勝浦町	R5年度合計	R4年度合計
男性	0			0	1
女性	9			9	10
合計	9	0	0	9	11

(6) 年齢別登録利用者数 (単位:人)

令和6年3月31日現在

65歳まで	65~69歳	70~74歳	75~79歳	80~84歳	85~89歳	90~94歳	95歳以上	合計
0	0	0	0	2	3	1	3	9

(7) 年間ヒヤリハット・事故報告状況

種別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	R5年度合計	R4年度合計
ヒヤリハット報告	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2	2
事故報告	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	3

グループホーム もみの樹

1. 役割を持って、安心できる暮らしへ

ご利用者様が自ら力を発揮し、住み慣れた地域の中で幸せに暮らすことを目指し、ご利用者様一人ひとりが得意な事や好きな事で役割を持ち、また、ご家族様や地域との関係の中でも役割を持ち続けられるように支援を行いました。

2. 身体拘束廃止への取り組み

身体拘束等の適正化をはかるため「身体拘束等適正化委員会」を設置し、定期的な委員会の開催と職員への研修を実施しました。

3. 開かれたホームを目指して

新型コロナウイルス感染拡大防止のためガラス越し面会となり、ご家族様や地域の方々に気軽に訪問していただくこと、認知症カフェ、地域の食事会、祭りなどの地域行事への参加や、保育園児・小学生との交流会など、地域に根ざした活動ができるよう支援を行うことができませんでした。

4. 介護サービス情報の公表と自己評価

地域の方々に選んでいただける施設になるよう、標準化された介護サービス情報の公表を行いました。また、自己評価にて提供するサービスの質の評価を自ら行いました。

5. 運営推進会議を活かした取り組み

ケアの質の向上および地域に開かれた事業運営を行うため、ご家族様や地域の人々などから構成される運営推進会議(協議会)を年間6回開催し、事業活動状況の報告などを行うとともに、評価・要望・助言を得るよう努めました。

6. 稼働率の安定

ご利用者様の健康管理と適切なケアの提供により、ご利用者様が健康的な日常生活が送れるよう支援しました。

稼働率は目標99%に対し、98.7%の達成となりました。

グループホーム もみの樹 令和5年度 利用者実績

(1) 市町村別利用者数（令和6年3月31日現在）

	古座川町	太地町	那智勝浦町	串本町	合計
男性	1	0	0	0	1
女性	3	0	0	5	8
合計	4	0	0	5	9
割合	44.4%	0.0%	0.0%	55.6%	100.0%

R4年度
1
8
9
100.0%

(2) 年齢別利用者数（令和6年3月31日現在）

	69歳以下	70～79歳	80～89歳	90～99歳	100歳以上	合計	最高齢
男性	0	0	0	1	0	1	96
女性	0	2	2	4	0	8	98
合計	0	2	2	5	0	9	平均88.4

R4年度
94
95
平均89

(3) 介護度別利用者数（令和6年3月31日現在）

	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計	平均介護度
男性	0	0	1	0	0	0	1	2.0
女性	0	1	0	2	4	1	8	3.5
合計	0	1	1	2	4	1	9	5.5

R4年度
2.0
3.2
3.0

(4) 月別利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延利用者数	270	279	270	279	279	270	271	270	277	259	257	274	3,255
実員	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	
稼働率	100%	100%	100%	100%	100%	100%	97%	100%	99%	92%	98%	98%	98.7%

R4年度
3,285
100.0%

(5) リスクマネジメント報告件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
ヒヤリハット報告	6	7	6	4	4	6	6	4	1	4	3	4	55
事故報告	1	0	0	1	0	0	0	2	0	0	0	0	4

R4年度
66
4

(6) 入居待機者数（令和6年3月31日現在）

	古座川町	太地町	那智勝浦町	串本町	合計
男性	2	1	2	2	7
女性	6	0	0	7	13
合計	8	1	2	9	20

R4年度
6
12
18

グループホーム 湯ごりの郷

1. 個別ケアの推進

ご利用者様一人ひとりが、日常生活の中で役割を持ちながらホームでの生活を過ごしていただくため、調理や食器洗い・洗濯物の整理など、職員と一緒に取り組んでいただけるよう支援しました。ご利用者様の状態に応じ、週1回のカンファレンスを通して、水分・食事・排せつ・歩行ケアをスタッフ全員が適切に取り組めるよう心がけてきました。自然な排便をサポートすることで、健康的で安定した生活につながることができました。

2. 医療連携体制・看取り介護の強化

訪問看護ステーション・医療機関との連携により、ご利用者様の身体の状態をより綿密に相談することで、健康管理を行いました。ご利用者様の状態や情報をご家族様と共有し、終末期の過ごし方を寄り添いながら考える機会をつくりました。何度も繰り返し検討を行うことで、後悔なくお見送りできるようサポートし、その人らしく穏やかに過ごしてもらった看取りの達成にむけ、ご利用者様を中心に看取り介護を行い、職員みんなが、「ここで居てもらえてよかった。」と思えることができました。

稼働率につきましては入院もあり、95.61%の実績となりました。

3. 人材育成・確保の強化

理念を共有し虐待は、許されることではないことを職業倫理に照らし合わせなどの学習を行いました。自立支援介護の基本的な4つのケアの知識を深めることから、排せつの場面では、下剤を中止し、腸内環境の改善からの取り組みなどにより自然な排便を促すことができました。

感染症対策については標準予防策を再徹底し、職員は「感染症にかからない、施設に持ち込まない」を目標に取り組んだ結果、感染症にかかることなく過ごすことができました。

排泄ケアでは、水分補給と歩行運動によって、日中の排尿回数を増やし、夜間にぐっすり休んでもらえるよう努めました。

知識を理解し実践することで、具体的な成果をあげ、達成できた喜びを職員一人ひとりの「働きがい」とし、高瀬会で働く職員としての喜びを追求しました。

グループホーム 湯ごりの郷 令和5年度利用者実績

(1) 市町村別利用者数 (令和6年3月31日現在)

	那智勝浦町	太地町	新宮市	串本町	合計
男性	2	1	0	0	3
女性	11	4	0	0	15
合計	13	5	0	0	18
割合	72.2%	27.8%	0.0%	0.0%	100.0%

R4年度
2
16
18
100.0%

(2) 年齢別利用者数 (令和6年3月31日現在)

	69歳以下	70～79歳	80～89歳	90～99歳	100歳以上	合計	最高齢
男性	0	0	2	1	0	3	96
女性	0	1	1	11	2	15	101
合計	0	1	3	12	2	18	平均89.3

R4年度
89
100
平均89.3

(3) 介護度別利用者数 (令和6年3月31日現在)

	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計	平均介護度
男性	0	1	2	0	0	0	3	2.3
女性	1	2	2	3	2	5	15	3.2
合計	1	3	4	3	2	5	18	2.9

R4年度
1.5
3.0
2.8

(4) 月別利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延利用者数	510	554	525	529	535	510	537	506	539	541	476	521	6,283
実員	18	18	18	18	18	18	18	19	18	18	18	18	
稼働率	94.4%	99.3%	97.2%	94.8%	95.9%	94.4%	96.2%	93.7%	96.6%	97.0%	94.4%	93.4%	95.61%

R4年度
6,374
96.98%

(5) リスクマネジメント報告件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
ヒヤリハット報告	8	9	8	5	10	6	6	13	3	7	11	6	92
事故報告	1	0	1	1	1	0	0	2	1	1	1	0	9

R4年度
84
7

(6) 入居待機者数 (令和6年3月31日現在)

	那智勝浦町	太地町	新宮市	串本町	合計
男性	6	0	0	0	6
女性	10	14	0	3	27
合計	16	14	0	3	33

R4年度
12
17
29

小規模多機能ハウス 湯ごりの郷

1. 運営方針について

介護や支援が必要な状態になっても、ご利用様が今までに築いてきたご家族様や地域との関係を大切にし、住み慣れた地域で今までと変わらない暮らしが続けられるよう取り組んできました。また、馴染みの関係や場所で、認知症があっても仲間と一緒に安心ある生活ができるよう、ご利用様の思いや望み、心身の状況などに応じて「通い」「泊まり」「訪問」を柔軟に組み合わせ、365日24時間切れ目のない支援でご利用様の安心ある暮らしを目指して取り組みました。

2. 「地域の中でいつまでも笑顔で過ごせるように」にもとづいた支援

事業所理念を目指し、ご利用様一人ひとりの気持ちに向き合い、思いや望み、心身の状況や環境を理解し、ご利用様が大切にしてきたものを一緒に大切にしながら、地域での暮らしを継続できるようご利用様本位の支援に努めました。

3. 柔軟で一体的・継続的な支援

ご利用様に、「通い」「泊まり」「訪問」サービスを提供しながら、できる限り自宅での暮らしを継続できるよう支援してまいりました。また、重度の医療、介護が必要な方には、医療機関や施設・在宅サービスを紹介し、ご利用様にあったサービスが受けられるように支援いたしました。

また、電話での見守り・緊急時の相談や訪問を行い、ご利用様が地域の中で安心して過ごせるように支援いたしました。

4. 身体拘束の廃止と尊厳の保持

ご利用様の尊厳を守るため、身体拘束などの行動を制限する行為は行っておりません。また、日頃から委員会活動を通じ、ご利用様やご家族様への対応や言動を振り返る機会を持ち、「個人の価値」を大切にできるケアを目指しました。

5. 非常災害および緊急時の対応と事故防止対策

非常災害時には、迅速・適切に対応できる緊急連絡体制を整備し、市町村や地域との応援体制や情報交換を「運営推進会議」などで行い、対応について検討を重ねました。また、ヒヤリハット報告や事故報告書による検討を行い、大きな事故や感染症などのまん延を防止できる取り組みを行い、安全な生活が送れるように努めました。

6. 地域で暮らし続けることの支援

ご家族様やボランティアの受け入れ、地域行事などへの参加により、地域の方との交流や触れ合いの機会を多く持ちました。また、積極的に外出を行うことにより、見慣れた景色や馴染みの場所を大切にし、地域に密着した暮らしができる支援を心がけました。

小規模多機能ハウス「湯ごりの郷」 令和5年度利用者実績

(1) 市町村別構成(令和6年3月31日現在)

	那智勝浦町	太地町	合計
男性	5	1	6
女性	5	7	12
合計	10	8	18
割合	56%	44%	100%

(2) 年齢別構成(令和6年3月31日現在)

	69歳以下	70～79歳	80～89歳	90～99歳	100歳以上	合計
男性	0	0	3	3	0	6
女性	0	0	5	6	1	12
合計	0	0	8	9	1	18

(3) 介護度別構成(令和6年3月31日現在)

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計	平均介護度
男性	1	3	2	0	0	6	1.7
女性	3	4	3	1	1	12	2.4
合計	4	7	5	1	1	18	2.1

	要支援1	要支援2	合計
男性	0	0	0
女性	0	0	0
合計	0	0	0

(4) 月別利用者数(月末時)

種別/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	5年度合計
通い	343	395	351	353	382	365	396	387	413	381	349	362	4,477
泊まり	175	212	187	210	236	220	253	233	235	237	212	204	2,614
訪問	0	4	4	5	3	2	4	3	3	3	3	3	37
合計	518	611	542	568	621	587	653	623	651	621	564	569	7,128
登録者数	18	18	17	17	17	17	16	18	18	17	17	18	208

(5) リスクマネジメント事故報告件数

種別/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	5年度合計
事故報告	0	4	0	0	1	0	2	2	3	1	3	0	16

ふれあいサロン ゆかし庵

<介護予防・日常生活支援総合事業、通所介護事業>

1. 運営について

要支援（事業対象者含む）、要介護と認定されたご利用者様や日常生活になんらかの支障をきたしているご利用者様が、できるかぎり居宅において、その有する能力に応じて自立した日常生活を営むことができるよう、生活支援や機能訓練などを行いました。

2. 処遇について

(1) 食 事

ご利用者様の心身の状況や嗜好を考慮した、食事の提供に努めました。

(2) 入 浴

一般浴槽を使用し、安全に入浴できるよう、洗身・着脱・移動の見守りや一部介助を行いました。

(3) 排せつ

ご利用者様の排せつ能力に応じた、排せつ介助（声かけ・誘導など）を行いました。

(4) アクティビティ

ご利用者様のニーズ・趣味・特技などを把握したうえでアクティビティを実施しました。

(5) 機能訓練

ご利用者様の身体能力にあわせて、体操・歩行練習などを実施しました。

(6) ご家族様との連携

ご利用者様の生活状況や身体状況を記した連絡帳を用いて、ご家族様との連携に努めました。

(7) 介護予防通所介護サービス計画書、通所介護サービス計画書の作成

ご利用者様1人ひとりのADL（日常生活動作）に応じた介護サービス計画書を作成し、適切なサービスを提供しました。

(8) 地域包括支援センターや居宅支援事業所との連携

ご利用者様の利用状況や生活の変化などについて、ケアマネージャーに随時報告し、相互に連携をはかりました。

ふれあいサロン「ゆかし庵」 令和5年度利用実績
 <介護予防・日常生活支援総合事業、通所介護事業>

(1) 要介護別年間延利用者数 (単位:人)

	事業対象者	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計	稼働率(%)
4年度		373	296	899	913	475	159	0	3,115	56.8%
5年度	148	207	218	1,197	665	350	50	4	2,839	45.9%

(2) 実人員・延べ人員 (単位:人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年比(%)
実人員	4年度	45	44	47	46	37	44	46	43	43	38	38	42	513	105.0%
	5年度	45	46	45	43	45	41	43	42	42	43	39	36	510	99.4%
延べ人員	4年度	317	327	327	320	70	273	309	241	264	171	230	266	3,115	83.0%
	5年度	258	267	249	246	222	233	257	249	253	213	191	201	2,839	91.1%

(3) 利用者平均介護度

平均	4年度	1.9
介護度	5年度	1.7

(4) 年間営業日数

年間	4年度	274
営業日数	5年度	309

(5) 地域別登録利用者数 (単位:人)

令和6年3月31日現在

	那智勝浦町	太地町	新宮市	5年合計	4年合計
男	4	0	0	4	6
女	27	4	1	32	36
合計	31	4	1	36	42

(6) 年齢別登録利用者数(単位:人)

令和6年3月31日現在

~65歳	65歳~70	70歳~75	75歳~80	80歳~85	85歳~90	90歳~95	95歳~	合計
0	0	1	0	5	6	18	6	36

(7) 年間ヒヤリハット・事故報告件数

分類	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	5年度合計	4年度合計
ヒヤリハット報告	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0
事故報告	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1
合計 (件)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2	1

＜閉じこもり予防事業＞

（那智勝浦町介護予防事業）

1. 運営について

家庭に閉じこもりがちなお利用者様に対して、閉じこもりの原因となる身体的・心理的・社会的環境要因を踏まえて、通所サービスによる支援を行うとともに、社会交流につながるような、きっかけ作りの場を積極的に提供しました。

2. 処遇について

- (1) ご利用者様一人ひとりの血圧・脈拍測定を行い、健康管理に努めました。
- (2) 社会との交流が積極的にできるよう、創作活動・脳トレーニングなどの共通の活動やレクリエーションを行いました。

年間延利用者数

町名	利用者数(人)
那智勝浦町	161

※閉じこもり予防事業は令和5年度で事業終了しました。

＜生活支援事業＞

（那智勝浦町任意事業）

ご利用者様の利用はありませんでした。

＜生活機能改善事業＞

（那智勝浦町任意事業）

ご利用者様の利用はありませんでした。

※生活機能改善事業は令和5年度で新規登録者の受付を停止、令和6年度で事業終了予定となっています。令和6年3月31現在、登録者はありません。

高瀬会第2訪問介護ステーション

1. 運営について

ご利用様が住み慣れた居宅において、有する能力に応じて自立した日常生活が送れるよう、身体の介護および生活全般にわたる家事などを適切に実施しました。

事業所が地域社会の一員であることを自覚し、地域の皆様、ご利用様ならびにご家族様から信頼されるよう相談・助言にも関わり事業の運営に努めました。

2. サービスの実施状況

- (1) 居宅（介護予防）サービス計画書にもとづき、個別援助計画を作成してご利用者様やご家族様のご要望に応じたサービス提供に努めました。
- (2) サービスの提供にあたっては、ご利用者様の意思および人格を尊重し、常にご利用者様の立場に立った支援を心がけました。
- (3) 地域との結びつきを重視し、関係市町村、居宅介護支援事業者、地域包括支援センター、その他の福祉・医療保健サービス事業者との連携にも努め、サービス担当者会議へも積極的に参加しました。
- (4) 各訪問介護員それぞれが専門職としての責任感と誇りを持ち、ご利用者様にきめ細かなサービスを提供できるよう情報の収集に努めました。
- (5) 単にサービスを提供するだけでなく、コミュニケーションをとりながら生活の質の向上（QOL）に努めました。

3. サービス内容について

- (1) 入浴の介助や身体清拭、オムツ交換や更衣介助など、身体介護をご利用者様の負担を少なく適切に行い、不自由なお体でも清潔に保てるよう支援しました。
- (2) 掃除・洗濯・炊事・買い物などの家事全般を適切に援助して、ご利用者様やご家族様の負担が軽減できるよう努めました。
- (3) ご利用者様やご家族様の身近な相談相手として、介護に関することや生活状況について関係機関などとも連携して適切に指導・助言を行いました。

4. 訪問介護員としての資質の向上

地域での研修や医療・介護に関わる講演などへ積極的に参加し、訪問介護員としての資質向上に努め、業務内容の改善にもつなげました。

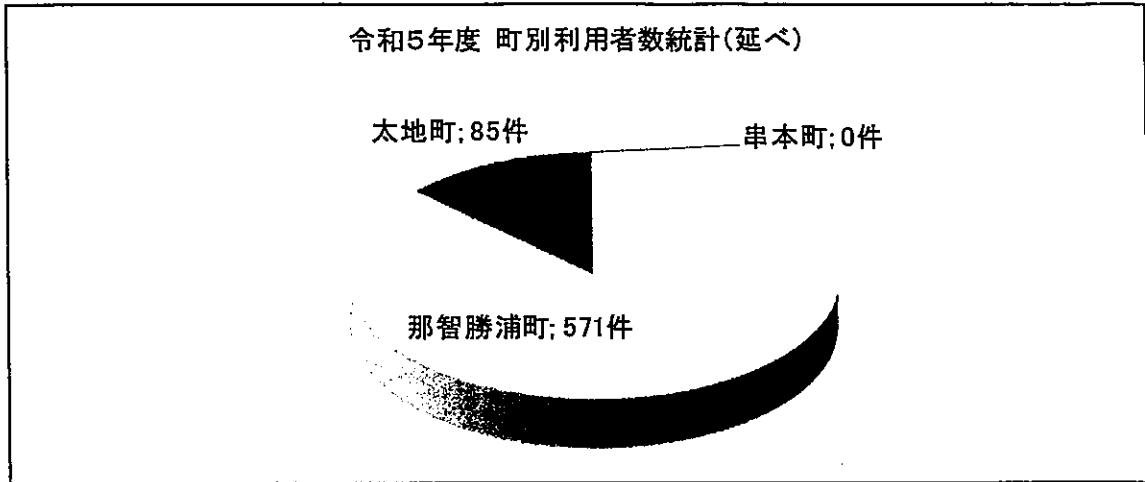
各訪問介護員には随時研修の機会を設け、介護技術や感染症対策の技術指導ならびに社会人としてのマナー研修などを実施し、質の高い訪問介護員となれるよう育成をはかりました。

5. 苦情・要望への対応

ご利用者様やご家族様からの苦情・要望に対して、早期に解決できるようケアマネージャーや関係機関などにも協力を仰ぎ、迅速かつ適切に対応しました。

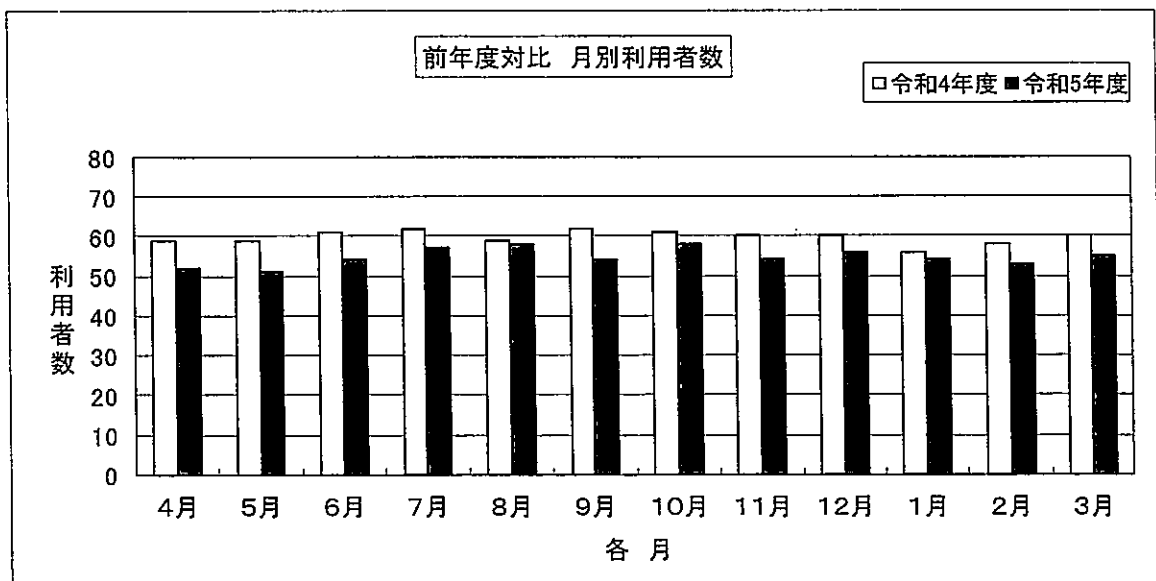
幸い大きな苦情ととらえる事例もなく、一年間事業が運営できました。

令和5年度 第2訪問介護ステーション実績(統計)



令和5年度分 利用者数 統計

	地域支援	事業対象者	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
4月	0	2	12	12	13	7	5	1	0	52
5月	0	4	11	12	11	6	6	1	0	51
6月	0	6	12	11	15	5	4	1	0	54
7月	0	5	11	13	17	4	5	2	0	57
8月	0	4	11	14	18	4	5	2	0	58
9月	0	4	10	12	19	3	4	2	0	54
10月	0	4	10	14	20	5	3	2	0	58
11月	0	4	10	15	16	5	3	1	0	54
12月	0	5	11	15	14	6	4	1	0	56
1月	0	5	9	16	13	7	4	0	0	54
2月	0	5	9	15	10	9	3	2	0	53
3月	0	5	9	17	11	9	3	1	0	55
合計	0	53	125	166	177	70	49	16	0	656



古座川町高齢者生活福祉センター ささゆり

1. 運営について

法人理念である「高齢者の尊厳を支えるケアの確立」のため、介護予防・機能訓練の充実、サービスの質の確保と向上に取り組みました。

食の自立支援事業では、食事を提供するとともに、ご利用者様の安否確認を行いました。

生活支援ハウスでは、入居者様の日々の生活を見守るとともに支援を行いました。

2. 処遇について

I デイサービス部門

(1) 通所介護サービス計画の作成

ご利用者様一人ひとりの状態などを踏まえたうえで、作成された通所介護サービス計画にもとづきサービスを提供しました。

(2) 食 事

献立表をもとに、ご利用者様一人ひとりの身体の状態や嗜好などを考慮して、食事の提供に努めました。

(3) 入 浴

ご利用者様の状態にあった、入浴介助を行いました。

(4) 排せつ

ご利用者様の状態に応じ、声かけ・誘導による排せつ介助を行いました。

(5) 機能訓練

ご利用者様の心身の状態に応じて、日常生活を送るために必要な身体機能の維持に努めました。

II 配食部門

おおむね65歳以上の単身世帯・高齢者のみの世帯で、調理が困難な方を対象にして、栄養バランスのとれた食事による配食サービスを行いました。

III 居住部門

デイサービスのご利用者様との交流や、各種相談・助言などを行うとともに、在宅福祉サービスを必要とするご利用者様については、その利用手続きについて援助を行いました。

古座川町高齢者生活福祉センターささゆり 令和5年度利用実績

(1) 要介護別年間延利用者数 (単位:人)

	事業対象者(1)	事業対象者(2)	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計	稼働率(%)
R4年度	284	477	1,552	271	110	0	6	2,700	70.0%
R5年度	199	475	1,437	353	75	8	0	2,547	66.1%

(2) 実人員・延べ人員 (単位:人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年比(%)
実人数	R4年度	35	37	35	36	35	33	33	34	36	35	36	35	420	
	R5年度	37	38	36	35	35	31	31	34	33	29	30	28	397	94.5%
延べ人数	R4年度	243	219	203	217	194	226	230	226	243	222	228	249	2,700	
	R5年度	219	253	243	232	211	195	200	228	211	188	187	180	2,547	94.3%

(3) 利用者平均介護度

平均介護度	R4年度	R5年度
	1.13	1.16

※事業対象者も含む

(4) 年間営業日数

年間営業日数	R4年度	R5年度
	257	257

(5) 登録利用者数 (単位:人) 令和6年3月31日現在

	R5年度	R4年度
男性	5	4
女性	23	31
合計	28	35

(6) 年齢別登録利用者数 (単位:人)

令和6年3月31日現在

65歳まで	65~69歳	70~74歳	75~79歳	80~84歳	85~89歳	90~94歳	95歳以上	合計
0	0	0	1	4	6	10	7	28

(7) 年間ヒヤリハット・事故報告状況

種別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	R5年度合計	R4年度合計
ヒヤリハット報告	0	2	0	1	1	0	0	0	1	0	0	2	7	6
事故報告	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0
合計	0	2	0	1	2	0	0	0	1	0	0	2	8	6

(8) 食の自立支援事業(配食サービス)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	R5年度合計	R4年度合計
配食数	80	114	96	98	101	89	86	83	106	101	110	120	1,184	1,167

(9) 生活支援ハウス(居住)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入居者数	6	6	6	6	6	5	4	5	5	5	5	6

南紀ケアプランセンター

1. 運営について

介護保険制度における要介護者が、各種サービスを利用できるように、ご利用者様とご家族様の委託を受け、居宅介護サービス計画（ケアプラン）を作成し、各種サービス事業者との連絡調整を行い、居宅介護支援に努めました。

（延べ件数 885 件、詳細別紙）

2. 事業内容

I 居宅介護支援業務

- ・ 地域におけるフォーマルな介護サービスとあわせて、インフォーマルなサービスについても情報収集を行い、幅広いニーズに対応するよう努めました。
- ・ ご利用できるサービスの内容などの情報を、ご利用者様とご家族様に提供しました。
- ・ ご利用者様の自立した日常生活を支援するうえで必要な、解決すべき課題の把握を行い、その課題に対応させた居宅サービス計画の原案を作成しました。
- ・ 新型コロナウイルス感染症対策のため、事前に聴取を行いながらサービス担当者会議を開催し、専門的意見の収集およびサービスの調整を行いました。
- ・ ご利用者様にサービスの内容について説明を行ったうえで、居宅介護サービス計画（ケアプラン）およびサービス利用票の作成を行い、同意を得ました。
- ・ 新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、ご利用者様への訪問によるモニタリングの実施ならびにサービスの調整・変更を行いました。
- ・ ご利用者様が在宅生活困難となり、入所・入院を希望される場合には、関係施設への照会などの便宜の提供を行いました。
- ・ 医療サービスの利用希望や必要が生じた場合には、ご利用者様の同意を得て、医師の意見を聴取しました。
- ・ ご利用者様が入院した際には、ご利用者様・ご家族様のご理解を得たうえで病院に情報を提供しました。また、退院する際には、不安なく在宅生活を送れるよう病院スタッフと連携をはかりました。
- ・ 介護予防支援については、今年度人員不足のため対応できず、委託をお受けできませんでした。
- ・ 新型コロナウイルス感染症対策に関しては、法人内「感染症対策委員会」の決定事項にしたがい、各事業所と連絡を取り合い調整を行いました。
- ・ 福祉用具について必要な情報を提供し、ご利用者様の希望により購入の手続きを代行し、介護保険対象品については、受領委任払いを含む購入費の支給手続きを行いました。

- ・ 住宅改修について、手すりの設置や段差解消などの住宅改修の相談を受け、業者への見積もり依頼や介護保険の対象となるかどうかの確認などをしたうえで、ご利用者様に報告するとともに保険者に事前連絡し、改修を依頼しました。また改修実施後に、受領委任払いを含む介護保険支給の手続きを行いました。
- ・ サービス事業所より実施状況を確認し、給付管理票を作成のうえサービス費の請求業務を行いました。
- ・ 厚生労働省が新年度より国保中央会において実施を予定しているケアプランデータ連携システムのパイロット運用に参加し、事業の試用にて意見交換を行いました。

II 介護支援専門員研修

- ・ 事業所内における研修会を開催し、専門性の向上に努めました。
- ・ 地域包括支援センターを中心とした支援事業所の研修会に参加し、地域の現状や問題点、介護支援事業所としてのあり方などについて理解を深め、介護支援専門員としての資質の向上に努めました。
- ・ 介護支援専門員業務の継続実施のため、資格更新研修を受講。専門員業務の再確認と最新の支援内容などを学び、支援業務の知識向上に努めました。

III 多職種連携

(1) 医療機関との連携

- ・ より良い介護支援において必要な医療と介護の連携については、県や医療機関、他機関とともにメンテナンス協議を行い、連携強化に努めました。
- ・ ご利用者様の退院支援がスムーズに行えるよう、医療機関との連携をはかりました。

(2) 地域ケア会議への参加

- ・ 地域包括支援センターが主催する地域づくりのための地域ケア会議に参加し、関係機関のさまざまな職種の方々と協議を行いましたが、年度後半はコロナ対策として開催は見合されたため、個別案件で必要時に相談を行いました。

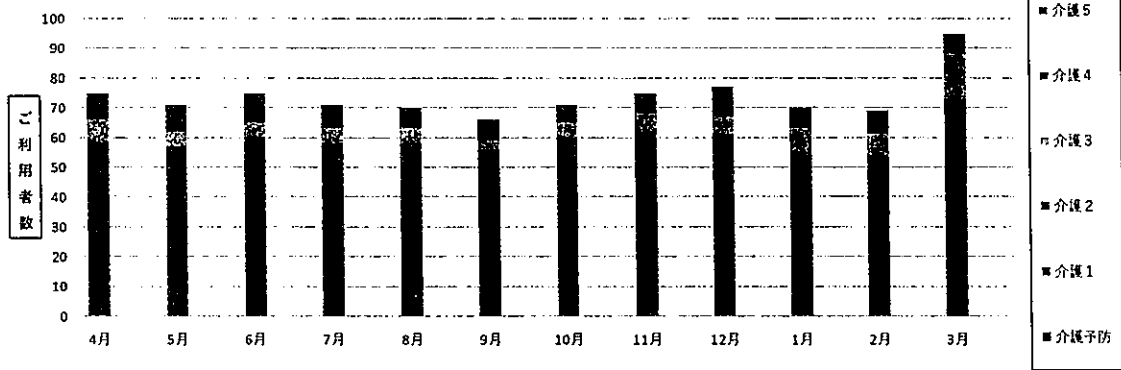
(3) 包括支援センターとの連携

- ・ 虐待事案が発生した際、包括支援センターおよび保険者、関係機関と協議し、連携をはかり、ご利用者様介護者様への助言指導、サービス対応など支援業務を行いました（事例1件）。
- ・ 成年後見人が必要と判断されるご利用者様について、包括支援センターおよび保険者と協議を重ね、必要に応じた支援を行いました。

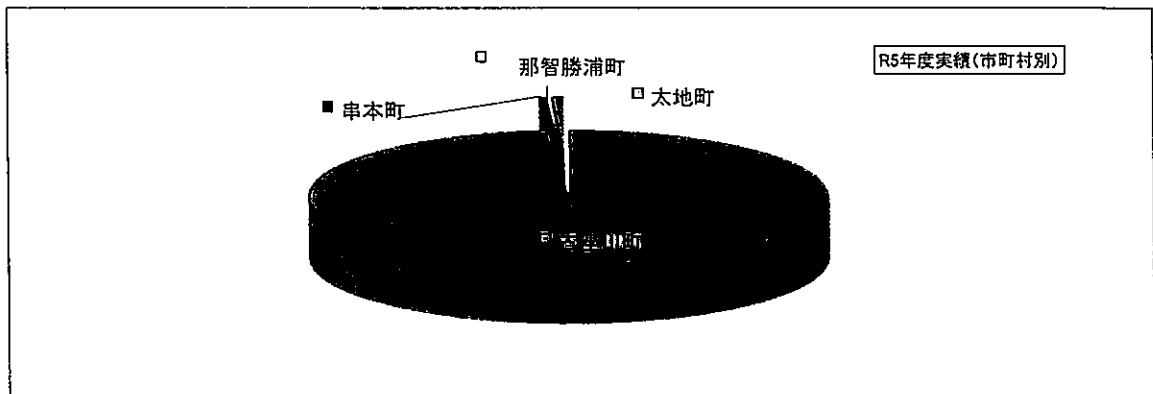
南紀ケアプランセンター 令和5年度 利用者実績

	介護予防	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	介護合計	合計
4月	0	40	18	8	2	7	75	75
5月	0	37	20	5	3	6	71	71
6月	0	39	21	5	3	7	75	75
7月	0	38	20	5	3	5	71	71
8月	0	39	19	5	3	4	70	70
9月	0	37	19	3	4	3	66	66
10月	0	39	21	5	3	3	71	71
11月	0	40	22	6	4	3	75	75
12月	0	39	22	6	5	5	77	77
1月	0	35	19	9	5	2	70	70
2月	0	35	19	7	6	2	69	69
3月	2	47	24	15	3	4	93	95
合計	2	465	244	79	44	51	883	885

R5年度ご利用者数実績



	予防	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	介護合計	合計
古座川町	0	460	241	77	44	49	871	883
串本町	0	3	0	0	0	0	3	3
太地町	0	2	0	0	0	0	2	2
那智勝浦町	2	0	3	2	0	2	7	9
合計	2	465	244	79	44	51	883	885



南紀ケアプランセンター那智勝浦

1. 運営について

要介護の状態となったご利用者様に対し、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるようご利用者様やご家族様の意向にもとづき、適切に保健・医療・福祉サービスなどを総合的かつ効率的に提供し、チームとしてのケアに努めました。

また、各種サービスの提供が、常にご利用者様の立場にたって公正中立に行われているかを確認し、各役場福祉課、地域包括支援センターや介護保険施設などとも連携をはかり事業の運営に努めました。

2. 事業内容

I ケアマネジメント業務

- ・ご利用者様、ご家族様のニーズを正確に把握するため、アセスメントシートを活用し、真の要望にお応えするようつとめました。また、自立支援につながるよう、インフォーマルサービスを位置づけ居宅サービス計画書を作成しました。
- ・支援目標にむけてサービスが適切に提供され、ニーズの解決につながっているかを事業所からの実施状況報告書や個別援助計画書の提出を依頼し、連携をはかりながらご利用者様の状態の変化に迅速に対応できるよう努めました。
- ・ご利用者様宅に適宜訪問して、生活目標の達成度を確認し、必要に応じてサービス計画書の見直しを行い、生活課題の解決に努めました。

II その他の支援業務

- ・介護保険給付サービス以外にも、近隣の医療情報の提供、配食サービス・介護用品支給事業などのインフォーマルサービスなども積極的に助言し支援しました。

3. 専門職としての相談業務

専門職の役割が果たせるよう、常に窓口はオープンにし、ご利用者様のご家族様や地域の方々、各種事業所などから気軽に相談していただけるように努めました。

4. 高齢者の権利の擁護

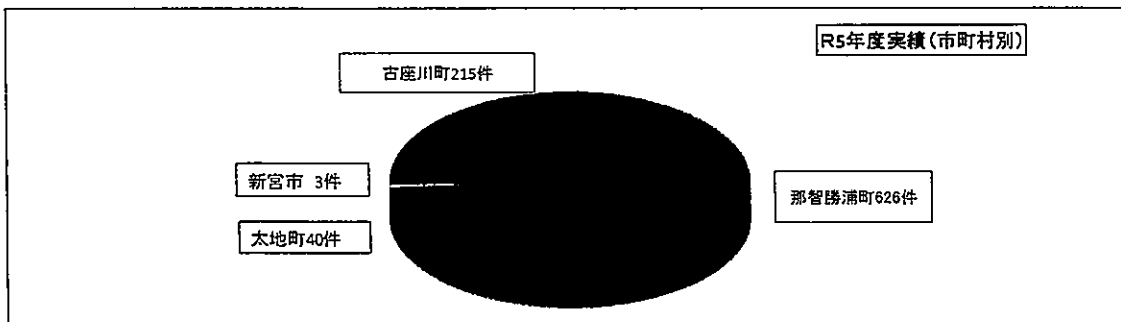
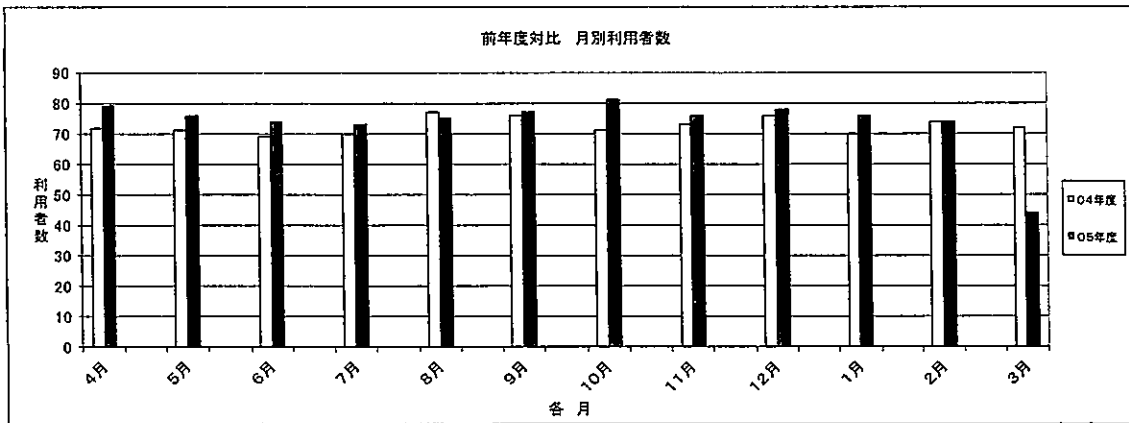
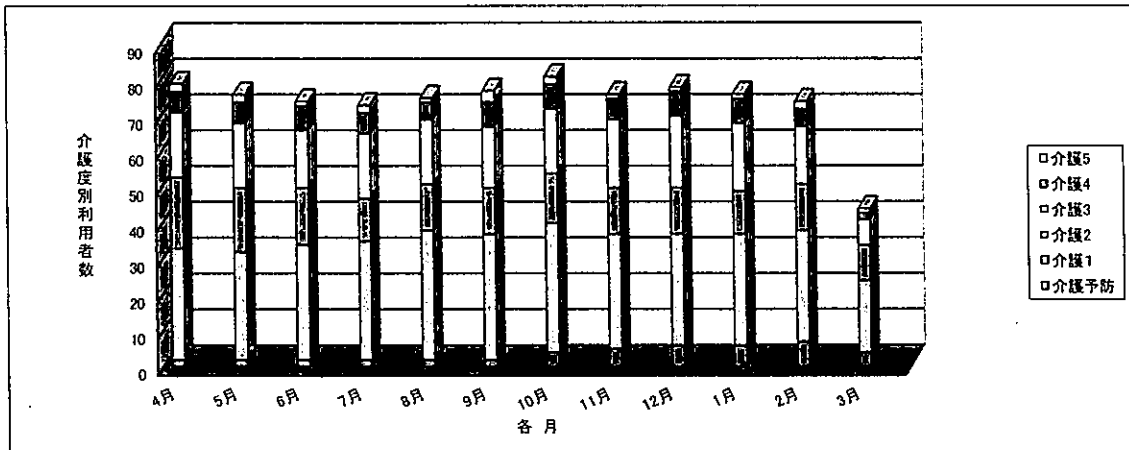
事業所が関わるケースからは虐待と思われる事例はなく、ご利用者様の権利が擁護できました。

各種事業所とも連携をはかり早期の発見・予防に努めました。

南紀ケアプランセンター那智勝浦 令和5年度 利用者実績

(単位 : 人数)

	介護予防	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	介護合計	合計
4月	2	31	20	18	6	2	77	79
5月	2	30	18	18	6	2	74	76
6月	2	32	16	16	7	1	72	74
7月	2	33	12	18	6	2	71	73
8月	2	36	13	18	5	1	73	75
9月	2	35	13	17	7	3	75	77
10月	4	36	14	18	7	2	77	81
11月	5	32	13	19	6	1	71	76
12月	6	31	13	20	7	1	72	78
1月	6	31	12	19	7	1	70	76
2月	7	31	13	16	5	2	67	74
3月	4	20	10	7	2	1	40	44
合計	44	378	167	204	71	19	839	883



南紀ケアプランセンター串本

1. 運営について

介護保険制度における要介護者が各種サービスを利用できるよう、ご利用者様とご家族様からの委託を受け、居宅介護サービス計画（ケアプラン）を作成し、各種サービス事業者との連絡調整を行い、居宅介護支援に努めました。

（延べ件数 769 件、詳細別紙）

介護予防支援については、地域包括支援センターからの委託を受け、地域包括支援センターと契約されたご利用者様のサービス計画を作成し、各種サービス事業者との連絡調整のうえ介護予防支援を行いました。（延べ件数 61 件、詳細別紙）

2. 事業内容

I 居宅介護支援業務および介護予防支援委託業務

- ・ 地域におけるフォーマルな介護サービスとあわせて、インフォーマルなサービスについても情報収集を行い、幅広いニーズに対応するよう努めました。
- ・ ご利用できるサービスの内容・利用料などの情報を、ご利用者様とご家族様に提供しました。
- ・ ご利用者様の自立した日常生活を支援するうえで必要な解決すべき課題の把握を行い、その課題に対応させた居宅サービス計画の原案を作成しました。
- ・ ご利用者様の在宅生活が困難で、入所・入院を希望される場合には、関係施設への照会などの、便宜の提供を行いました。
- ・ 医療サービスの利用希望や必要が生じた場合には、ご利用者様の同意を得て、医師の意見を聴取しました。
- ・ サービス担当者会議を開催し、専門的意見の収集およびサービスの調整を行いました。
- ・ 居宅介護サービス計画（ケアプラン）、サービス利用票の作成を行いました。
- ・ ご利用者様へのサービス内容の説明と、サービス利用票への同意を得ました。
- ・ ご利用者様への訪問によるモニタリングの実施、ならびにサービスの調整・変更を、行いました。
- ・ 介護予防支援についても、上記の同様の業務を行うとともに、地域包括支援センターへの報告と書類提出を行い、指導を受けながら、ご利用者様の状態に沿った予防支援を行いました。

Ⅱ 介護保険内のその他のサービスの提供

(1) 福祉用具購入費支給申請の手続き

福祉用具について必要な情報を提供し、ご利用者様の希望により購入の手続きを代行し、介護保険対象品については、購入費の支給手続きを行いました。

(2) 住宅改修の手続き

手すりの設置や段差解消などの住宅改修の相談を受け、業者への見積もり依頼や介護保険の対象となるかどうかの確認などをしたうえで、ご利用者様に報告をしました。また改修実施後に、介護保険支給の手続きを行いました。

(3) 給付管理業務

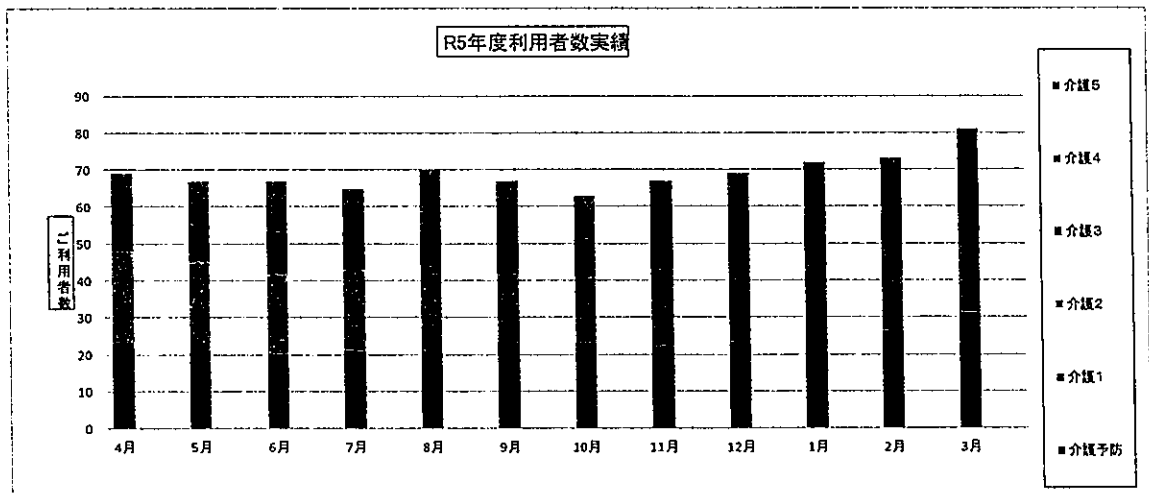
サービス事業所より実施状況を確認し、給付管理票を作成して、サービス費の請求業務を行いました。

(4) 介護支援専門員研修

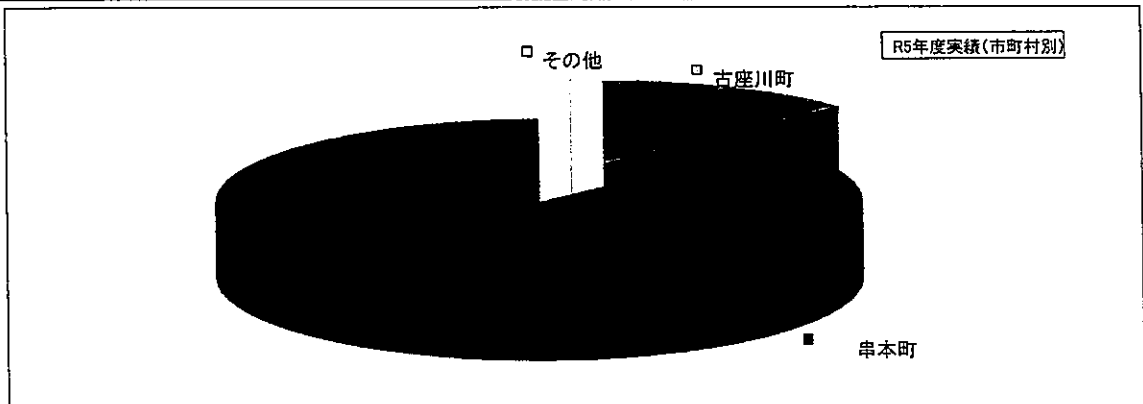
- ・ 県主催の現任研修、介護予防支援従事者就任時研修および現任研修を受講するとともに、研修会を開いて専門性の向上に努めました。
- ・ 地域包括支援センターを中心とした支援事業所の研修会に参加し、地域の現状や問題点、介護支援事業所としてのあり方などについて理解を深め、介護支援専門員としての資質の向上に努めました。

南紀ケアプランセンター串本 令和5年度 利用者実績

	介護予防	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	介護合計	合計
4月	4	19	25	10	7	4	65	69
5月	4	17	24	10	7	5	63	67
6月	4	16	22	11	9	5	63	67
7月	4	17	22	8	9	5	61	65
8月	4	17	23	9	12	5	66	70
9月	4	19	19	9	11	5	63	67
10月	5	18	18	10	8	4	58	63
11月	4	18	21	9	11	4	63	67
12月	4	19	20	10	12	4	65	69
1月	7	19	18	12	12	4	65	72
2月	8	18	22	10	10	5	65	73
3月	9	22	22	13	9	6	72	81
合計	61	219	256	121	117	56	769	830



	予防	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	介護合計	合計
古座川町	0	33	17	35	15	0	100	100
串本町	61	186	239	86	102	56	669	730
その他	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	61	219	256	121	117	56	769	830



高瀬会訪問看護ステーション

1. 運営について

主治医の指示のもと、あらゆる世代のご利用者様の心身機能と生活機能の維持・向上を目指し、疾病や障害を持ちながらも、安心して自立した在宅生活を送れるよう取り組みました。また、終末期のご利用者様とご家族様に限られた時間を、悔いのないものになるよう支援しました。

ご利用者様の意向を十分に把握した援助を目指して、ご利用者様一人ひとりに応じた訪問看護計画を作成して取り組むとともに、個別研修や職員間の情報共有に重点を置き、質の高いサービスの提供をはかりました。

2. サービス提供について

- (1) 主治医の指示書と居宅サービス計画書にもとづいて、具体的な個別援助計画を作成し、ご利用者様の要望に応じたサービスの提供を行いました。
- (2) ご利用者様の病状変化と心身の状況あるいは環境などについて、的確に把握するよう努めるとともに、ご利用者様とご家族様に適切な指導を行いました。
- (3) ご利用者様の意思や人格を尊重し、ご利用者様の立場に立って、サービスを提供しました。
- (4) 地域との結びつきを重視し、主治医・居宅介護支援事業者・関係市町村などと密接な連携をはかるよう努めました。
- (5) 「指定居宅サービス等の事業の人員、設備及び運営に関する基準」を遵守しました。

3. 苦情対応について

ご利用者様やご家族様からの苦情に対して、「苦情申し出窓口」を設置するとともに、苦情受付担当者を配置し、「苦情解決要綱」にしたがい、迅速かつ適切に対応しました。

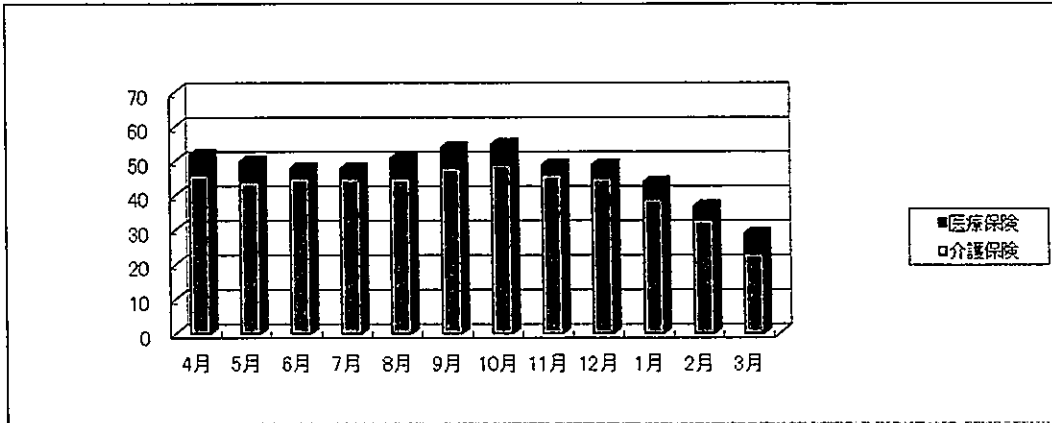
4. 新型コロナウイルス等感染症対応について

ご利用者様やご家族様の感染防止対策を徹底し、医療従事者としての使命感を持ち、法人全体の対応を継続しました。

令和5年度 高瀬会訪問看護ステーション 実績

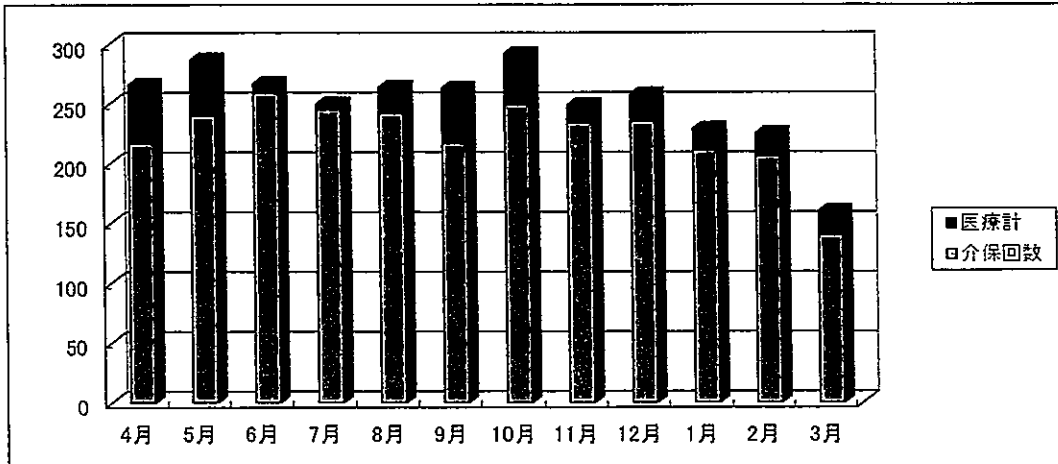
令和5年度件数別実績

	介護保険	医療保険	合計
4月	46	6	52
5月	44	6	50
6月	45	3	48
7月	45	3	48
8月	45	6	51
9月	48	6	54
10月	49	6	55
11月	46	3	49
12月	45	4	49
1月	39	5	44
2月	33	4	37
3月	23	6	29
合計	508	58	566



令和5年度種別実績回数

	介保回数	医療計	合計
4月	217	49	266
5月	240	47	287
6月	259	8	267
7月	245	5	250
8月	242	22	264
9月	217	46	263
10月	249	43	292
11月	234	15	249
12月	235	23	258
1月	211	18	229
2月	206	19	225
3月	140	20	160
合計	2,695	315	3,010



配食サービスセンター

1. 運営について

古座川町より委託を受けて、事業を実施しました。

実施日数は年間 311 日であり、年間の延利用者は 7,734 名、1 日平均 24.8 名の利用でした。

平成30年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	430	455	542	542	629	531	611	548	562	554	573	613	6,590
日数	25	27	26	26	27	25	27	26	25	25	24	26	309

令和元年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	605	619	574	645	658	639	721	635	632	548	560	634	7,470
日数	26	27	25	27	27	25	26	26	25	25	25	26	310

令和2年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	580	599	675	718	660	673	680	698	647	655	646	708	7,939
日数	26	26	26	27	26	26	26	25	26	24	24	27	309

令和3年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	668	703	673	690	682	701	659	651	613	580	626	737	7,983
日数	26	26	26	27	26	26	26	26	26	25	24	27	311

令和4年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	723	776	799	751	795	715	700	775	668	654	629	655	8,640
日数	26	26	26	26	27	26	26	26	26	25	24	27	311

令和5年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	610	660	631	595	611	555	632	661	687	667	682	743	7,734
日数	25	27	26	26	27	26	26	26	26	25	25	26	311

2. 事業実施

調理が困難な単身世帯や高齢者世帯を対象にして、毎日の利用のみならず状況に応じて、突発的な利用の申し込みにも対応し、ご利用者様の食事への不安の解消に努めました。

栄養バランスのとれた食事を提供するとともに、居宅を定期的に訪問することにより、ご利用者様の安否確認を行いました。

湯ごりの郷 配食サービスセンター

1. 運営について

那智勝浦町より、平成24年5月7日から委託を受け事業を実施し12年目を迎えました。

実施日数は12か月間・258日で、12か月間の延べ利用者数は6,850名、1日平均26名の利用でした。

利用者数は令和4年度より329名の減となりました。

要因としては、ご利用者様の入院や施設入所、自身で食事が作れるようになったことなどが考えられます。

令和元年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	871	953	846	941	870	826	884	794	747	676	722	829	9,959
日数	22	23	20	23	22	21	23	21	21	20	20	22	258

令和2年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	786	710	720	746	727	682	687	635	637	605	607	671	8,213
日数	22	21	22	23	21	22	22	21	21	20	20	23	258

令和3年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	569	523	524	591	577	580	557	578	512	505	481	547	6,544
日数	22	21	22	22	22	23	21	22	21	21	20	23	260

令和4年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	489	471	557	582	688	657	647	670	630	537	570	681	7,179
日数	21	22	22	21	23	22	21	22	22	20	20	23	259

令和5年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	623	655	508	515	581	540	589	610	515	519	585	610	6,850
日数	20	23	22	21	23	21	22	22	21	21	21	21	258

2. 事業実施

身体や世帯の状況などにより、食事を作ることが困難な高齢者の方々に、栄養の取れる食事を配達し安否確認を行いました。

日中から玄関を施錠したままで、長時間呼びかけないと応答がない方や、身体的な理由などで自宅内の移動が困難であるため、食事を室内の指定の場所まで持参して頂きたいと要望される方が増えています。

今後も、高齢者の在宅生活の維持および福祉の増進に努めます。

たかせ会記念診療所

1. 高瀬会高齢者総合ケアセンター各事業所との連携

高瀬会高齢者総合ケアセンターの各事業所と密接に連携をはかるとともに、地域住民との交流を重視する当法人の基本姿勢を踏まえて、地域密着型の保険医療機関として取り組みました。

2. 外来診療の充実

年間の診療者数は268名（前年比13名増、月平均22.3名）、年間の延べ診療回数は341回（前年比39回増、月平均28.4回）でした。（表1）

表1 診療者数・回数推移（令和5年度）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
人数	16	17	17	35	30	19	36	18	20	21	18	21	268
回数	22	20	22	39	34	26	45	19	26	31	30	27	341

表2 診療者数・回数推移（令和4年度）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
人数	18	20	18	18	25	24	17	20	29	22	18	26	255
回数	21	22	21	21	34	30	23	20	33	25	19	33	302

3. 保健予防活動の充実

各種予防接種に取り組み、高齢者を中心として延べ56名、当法人職員204名に対してインフルエンザ予防接種を実施いたしました。また、水痘ワクチン1名、肺炎球菌8名、コロナワクチン延べ355名への接種も実施いたしました。

4. 特殊業務などに係る健康診断の実施

法人職員の特殊業務などに係る腰痛検査（年2回）を延べ322名（第1回165名、第2回157名）、夜勤業務従事者の定期健康診断を67名に対して実施いたしました。

5. リスクマネジメント

ご利用者様に関する情報を的確に把握し、事故の予防に努めました。

人材育成事業

1. 運営について

平成28年4月1日より施行した「奨学金貸与規程」にもとづき、法人の理念および活動方針を理解し、法人の経営する施設での就職を希望する後継者を育成する目的で実施しています。

2. 広報・情報提供

地域で開催される就職相談会での奨学金制度の説明や、近隣高等学校の進路指導部を訪問し、新卒者に対する求人活動とともに奨学金の広報を行いました。

また、ホームページなどを活用して、より広く情報の提供に努めました。

3. 奨学金貸与の実施

令和5年度新規貸与者はありませんでした。

年度別貸与状況表(令和6年3月31日現在)

単位:名

年度	新規貸与者	貸与終了者	備考
平成28年度	1	0	
平成29年度	0	0	
平成30年度	4	3	途中辞退2名 (准看護師、介護福祉士)
令和元年度	0	0	
令和2年度	0	2	途中辞退者1名 (理学療法士)
令和3年度	0	0	
令和4年度	0	0	
令和5年度	0	0	
計	5	5	